

バイバイ！食べこぼし ～おいしくきれいに食べよう～



福島県

社会福祉法人 郡山清和救護園

救護施設 郡山せいいわ園

サークル名 せいいわガンバローズ

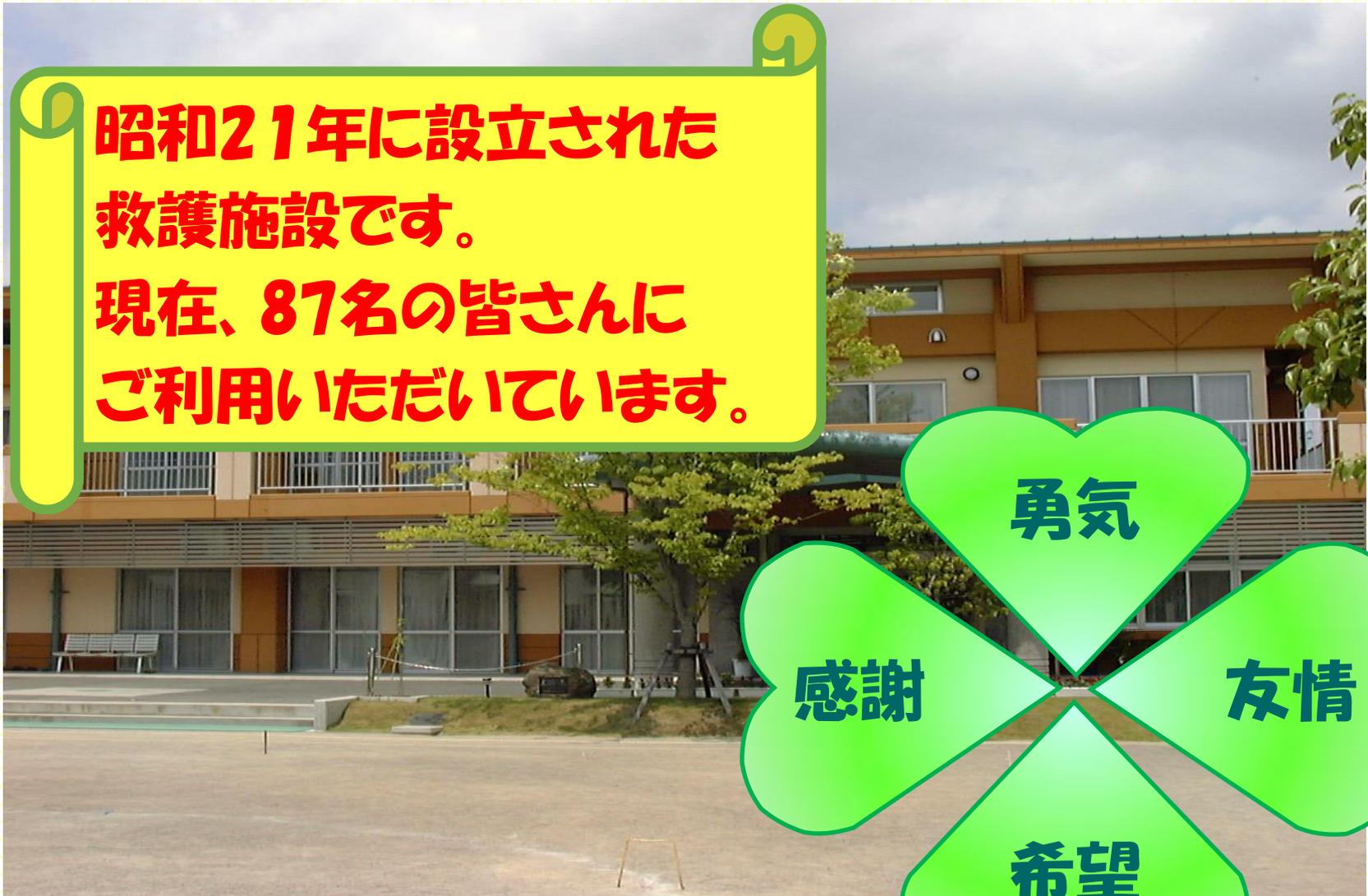
発表者 渡邊亜由美

宗形佳奈

アシスタント 渡邊佳織

1、施設紹介

昭和21年に設立された
救護施設です。
現在、87名の皆さんに
ご利用いただいています。



勇気

感謝

友情

希望

2、サークル紹介

構成人員	7名	施設のQC活動年数	35年
現メンバーでの活動歴	4年	構成メンバーの職種	相談員
平均年齢	25歳	主な活動時間	勤務時間内外
月あたりの会合回数	5回	本テーマの活動期間	4ヶ月 (5月~8月)
本テーマの会合回数	30回	本テーマの会合時間	1回 平均90分

3、テーマ選定理由

評価項目 取り上げた問題	施設方針	重要度	可能性	期待効果	活動計画	緊急度	総合点	順位
食べこぼしが多い	◎	◎	◎	◎	○	◎	486	1
利用者の方が水虫に感染している	◎	◎	○	◎	○	○	216	2
レクリエーションが充実していない	◎	○	◎	○	○	○	144	3

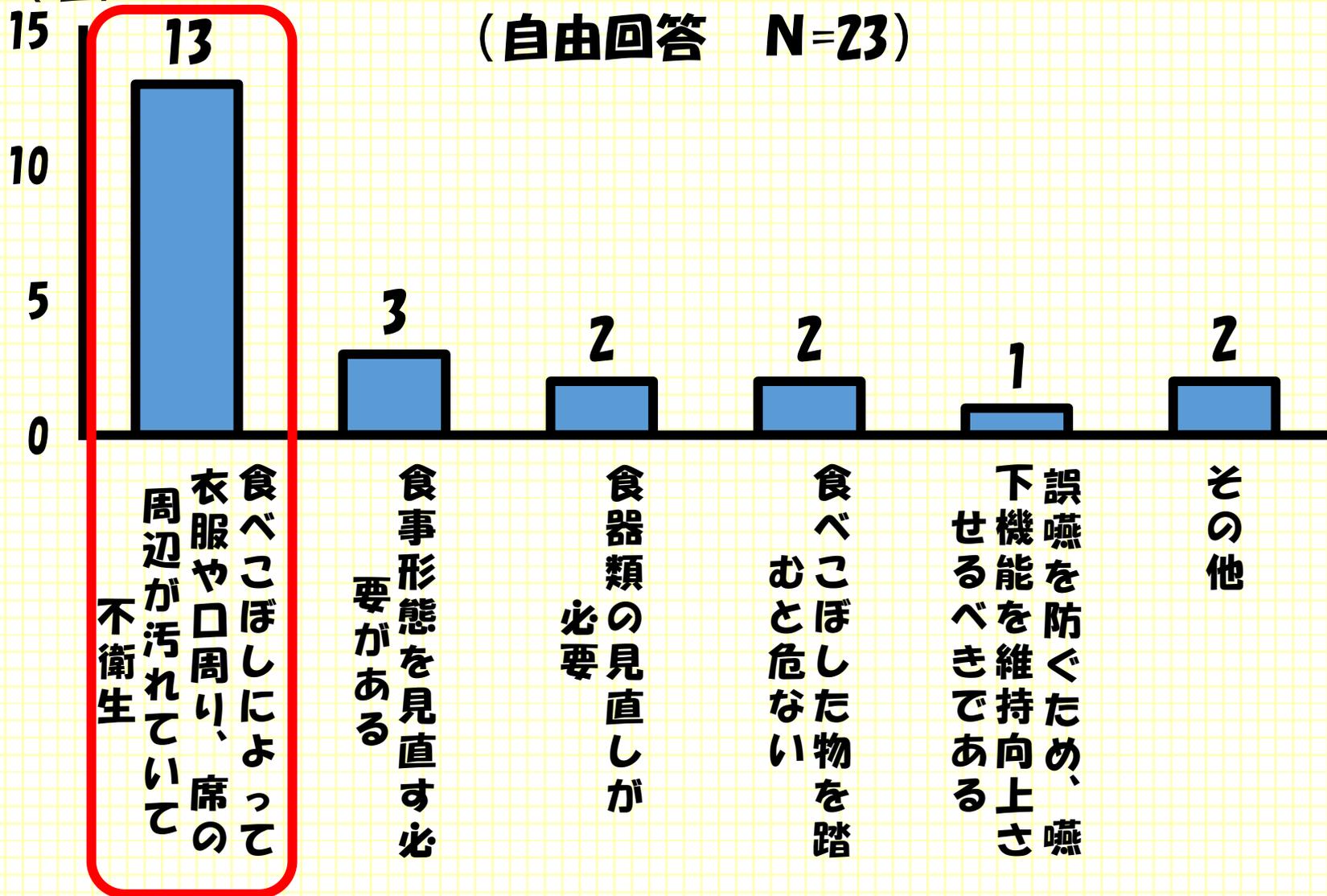
◎=3点、○=2点、△=1点

作成日:平成29年5月15日 作成者:国分

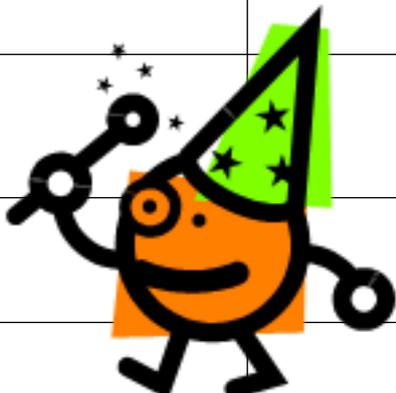
《テーマ選定資料》 職員アンケートより

(名) 現在の食事環境についてどう思いますか？

(自由回答 N=23)



4、活動計画

何を 実施項目	誰が 推進リーダー	いつまでに(上段⋯▶計画、下段→実績)			
		5月	6月	7月	8月
1、テーマ選定	国分	⋯▶15日 →15日			
2、現状把握	渡邊(佳)	⋯▶31日 →10日			
3、要因解析	和田		⋯▶14日 →17日		
4、対策の立案	渡邊(亜)		⋯▶30日 →30日		
5、対策の実施	渡邊(祐)				⋯▶31日 →31日
6、効果の確認	宗形			⋯▶9日 →8日	
7、標準化	和田・下重				⋯▶19日 →19日
8、まとめ	国分				⋯▶30日 →30日

作成日:平成29年5月15日 作成者:国分

5、施設長コメント

1、活動が与えた施設への効果

今回の活動では利用者の方が楽しみにされている食事について取り組み、食事エフロンや自助具の見直しが出来たことで、個人に合わせた食事環境を整えられました。きれいな環境作りの結果、利用者の方にも大変喜んでいただくことができた活動となりました。

2、実践サークルに一言

“継続は力なり”です。今回の活動を契機に、おいしく、楽しく、清潔な食事をご準備出来るよう一層努力することを期待しています。大変お疲れ様でした。

6、現状把握

現状把握1 「食べこぼし」について調べました。
〈現状把握1-1〉 食べこぼしの定義について

これらを



食べこぼしとした！！

②

<現状把握1-2>

食べこぼしの原因は一般的に何か調べました。

① 身体機能や口腔機能の低下

② 姿勢が悪い

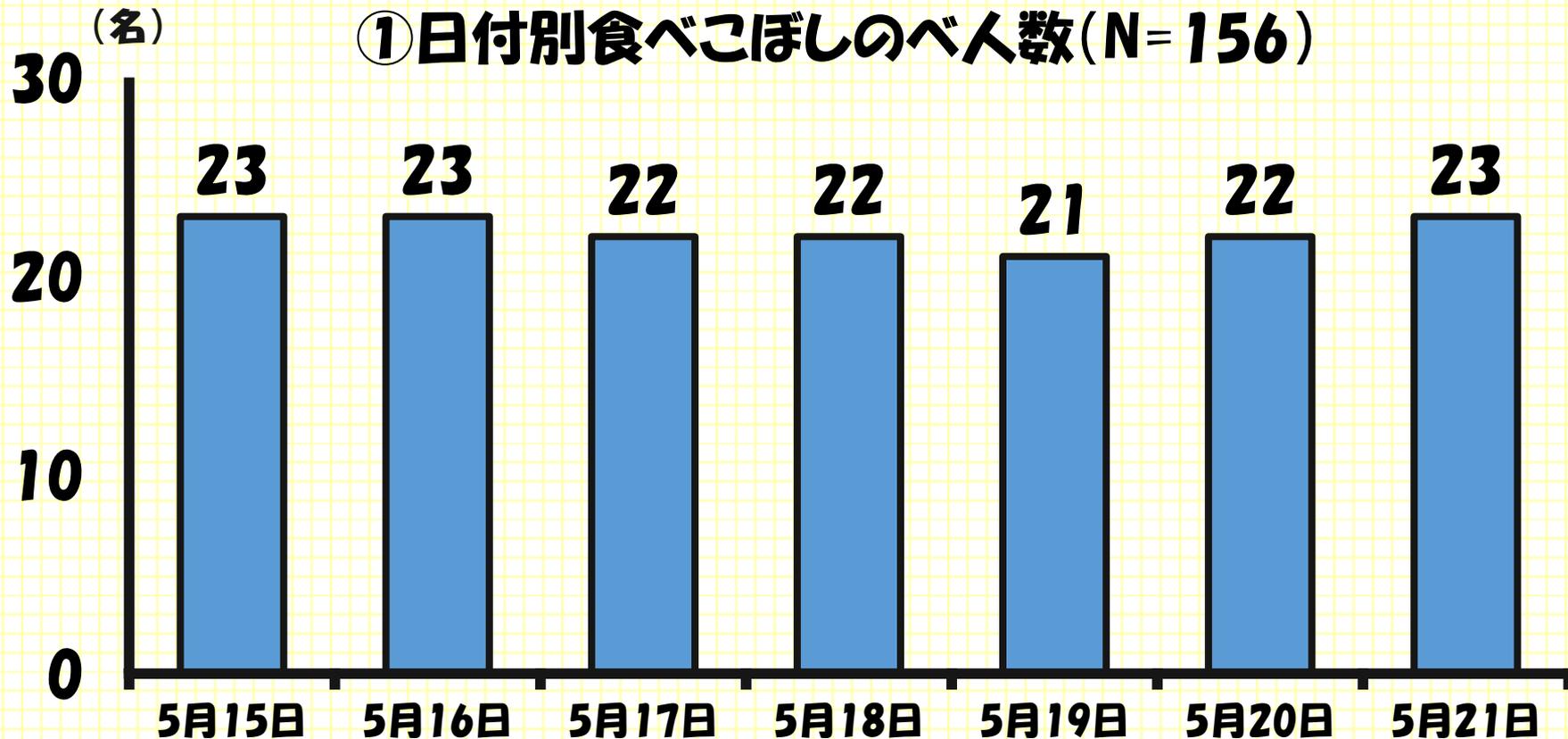
③ 食器が合っていない



<現状把握1-3>

現状把握1-1の定義より、昼食時に食べこぼしの回数を調べました。

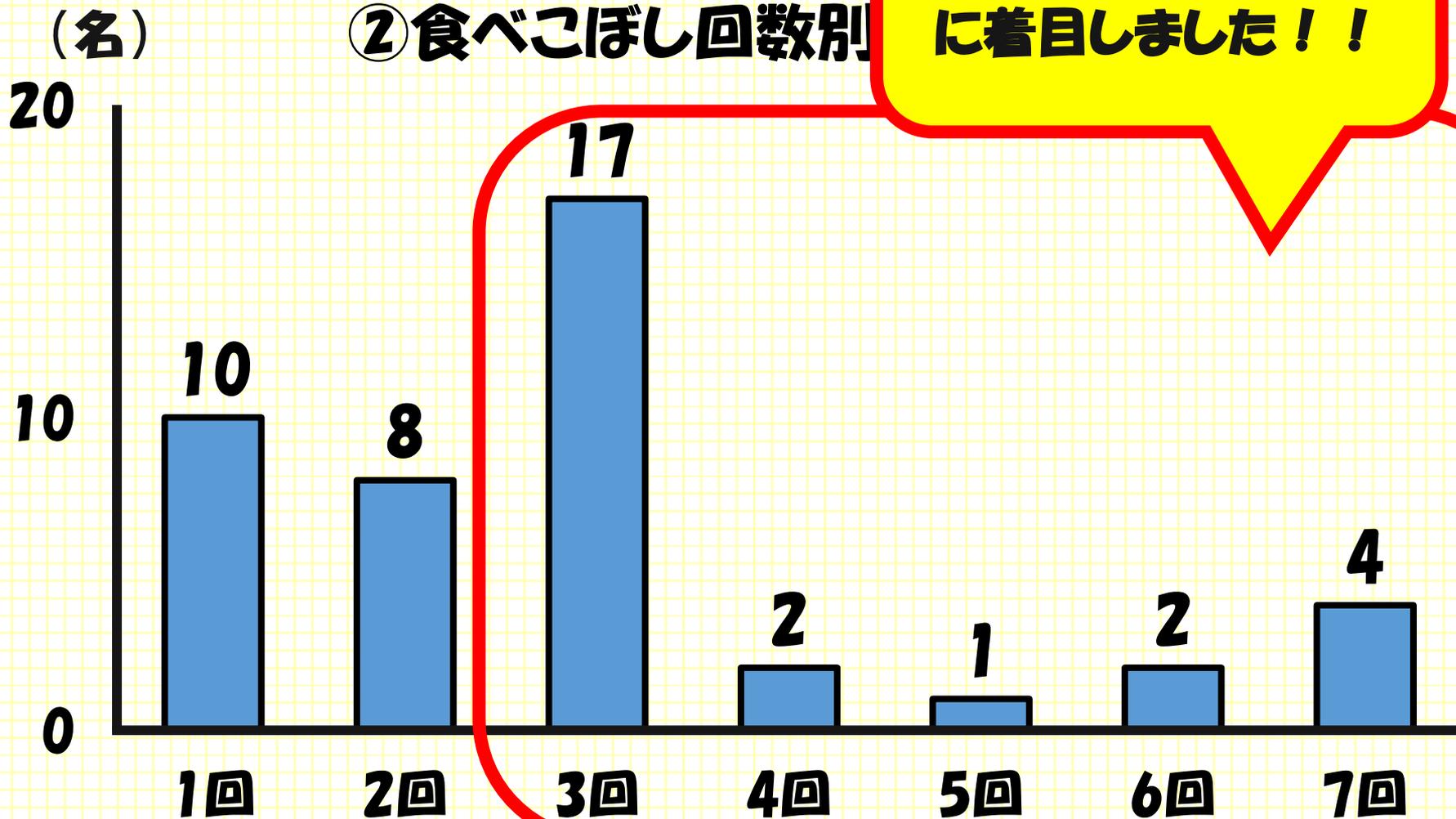
(調査期間)5月15日～5月21日の昼食時(7回実施)



<現状把握1-3>

現状把握1-1の定義より、昼食時に食べ残した。

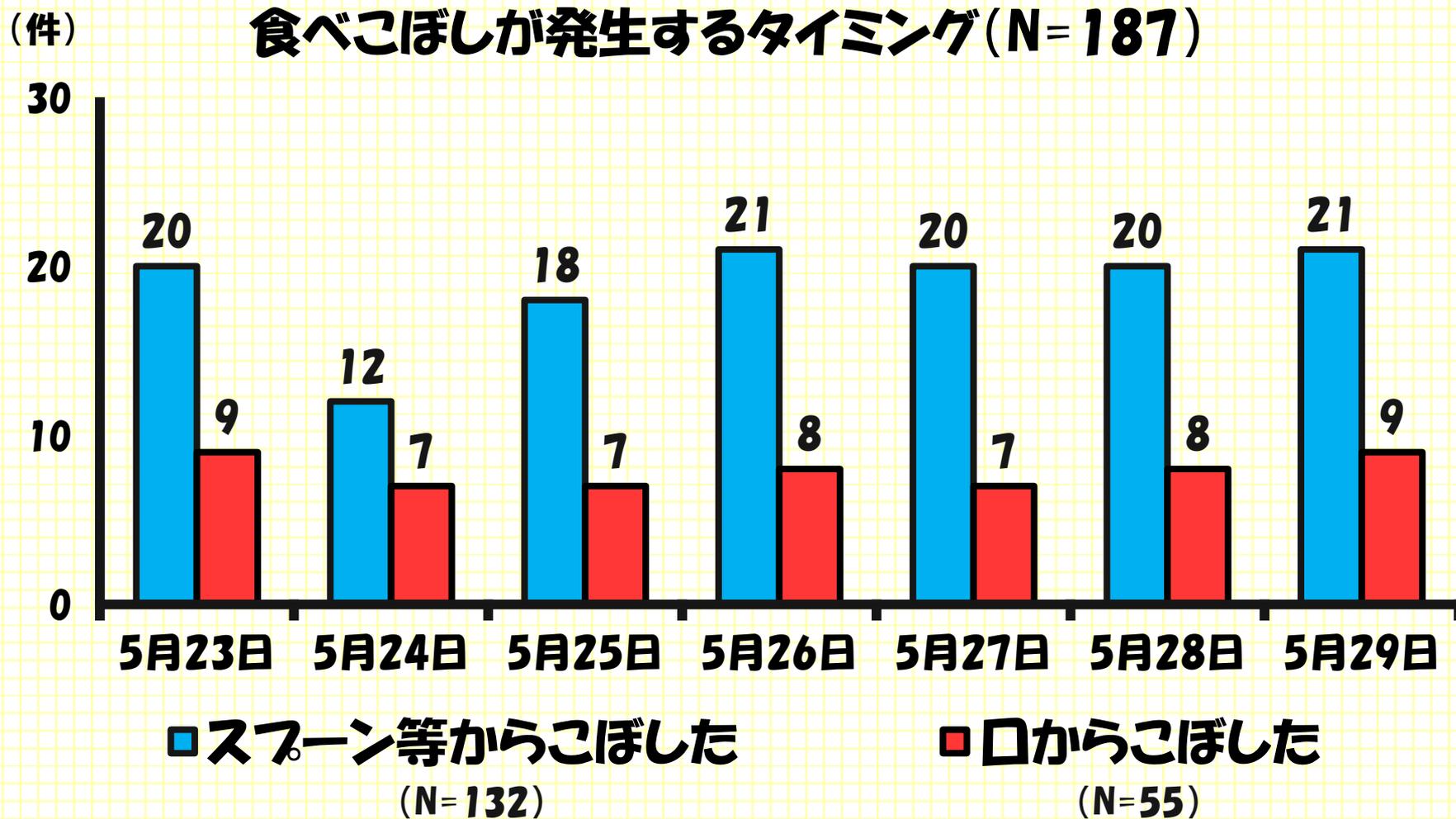
② 食べこぼし回数別



26名
に着目しました！！

〈現状把握1-4〉

食べこぼしがどのタイミングで起こったか調べました。



<現状把握1-5>

食べこぼし調査時のエフロンに付いたシミの特徴について調べました。

エフロンのシミ分布 (N=462)

771ヶ所 21%

シミの範囲が小さく



食べこぼし

||

口へ運ぶタイミングが多い!
器から近い所に範囲や量が多い!

98ヶ所 21%

シミの範囲は小さく
器から近くに集中

161ヶ所 35%

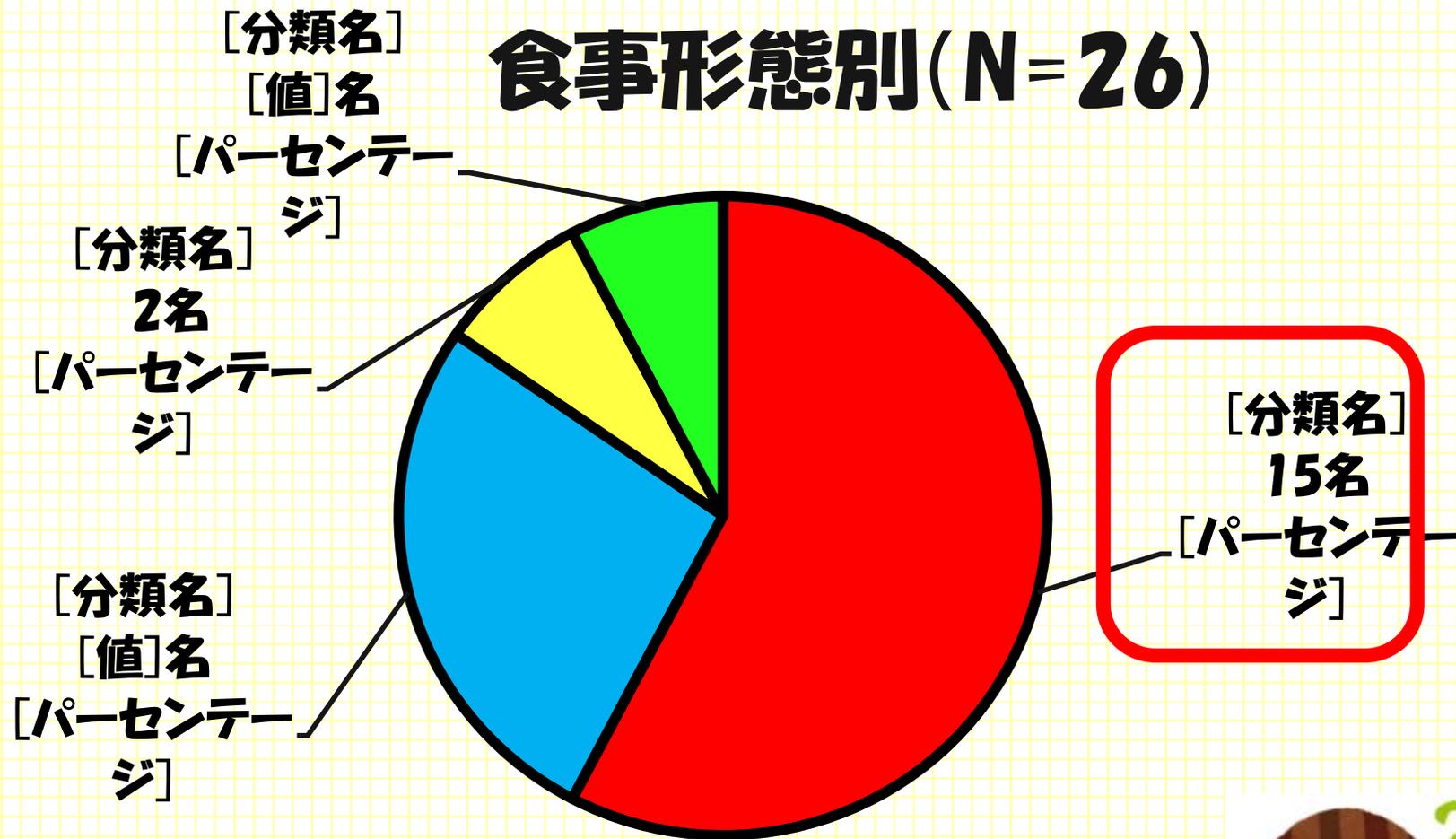
シミの範囲が大きく
食べこぼし量も多い!

121ヶ所 27%

シミの範囲が大きく
食べこぼし量も多い!

現状把握2 26名の食事状況について調べました。
〈現状把握2-1〉現状把握1-2の26名の食事形態について調べました。

食事形態別(N=26)

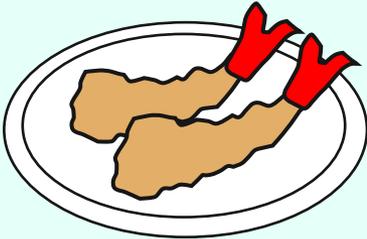
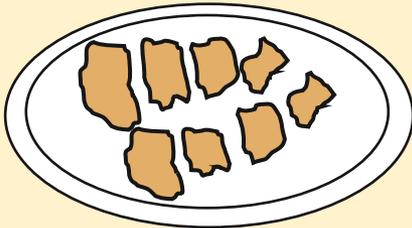
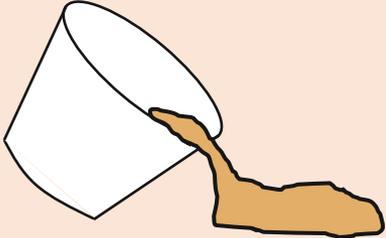


26名のうち半分以上の方がソフト食！



<現状把握2-2>

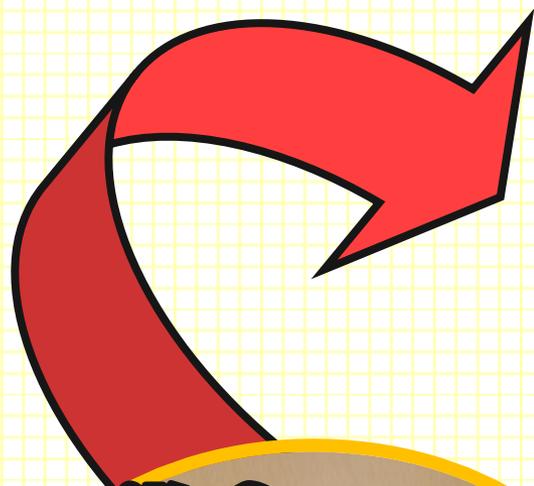
各食事形態を整理しました。

食事形態	普通食	一口食	ソフト食	ミキサー食
特徴	常食	食べ物を小さくし、 食べやすくした食事	舌でつぶせる 硬さである食事	ミキサーにかけて 液体状にした食事
形状	 例：エビフライ			

<現状把握2-2>

ユニバーサルデザインフード

例:エビフライ



常食



作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

<現状把握2-3>26名の身体状況と食事介助の状況を調べました。

①看護師・作業療法士と食べこぼしの要因となる
身体状況の項目のチェック表を作成！

身体状況一覧

約8割の方が
身体的症状を持っている！



0%

20%

40%

60%

80%

100%

0項目

1項目

2項目

3項目

作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

<現状把握2-3>

②26名の食事介助状況を整理しました。



**腕や手指の動きや、
口の開き方が原因で
食べこぼしが起きていた！**

<現状把握2-4>26名の食事摂取の状況や環境を調べました。

看護師・作業療法士・管理栄養士と共に食べこぼしの要因とないうる食事摂取状況や環境の項目を挙げ、食べこぼしとの関係を調査！

食べこぼし要因調査表

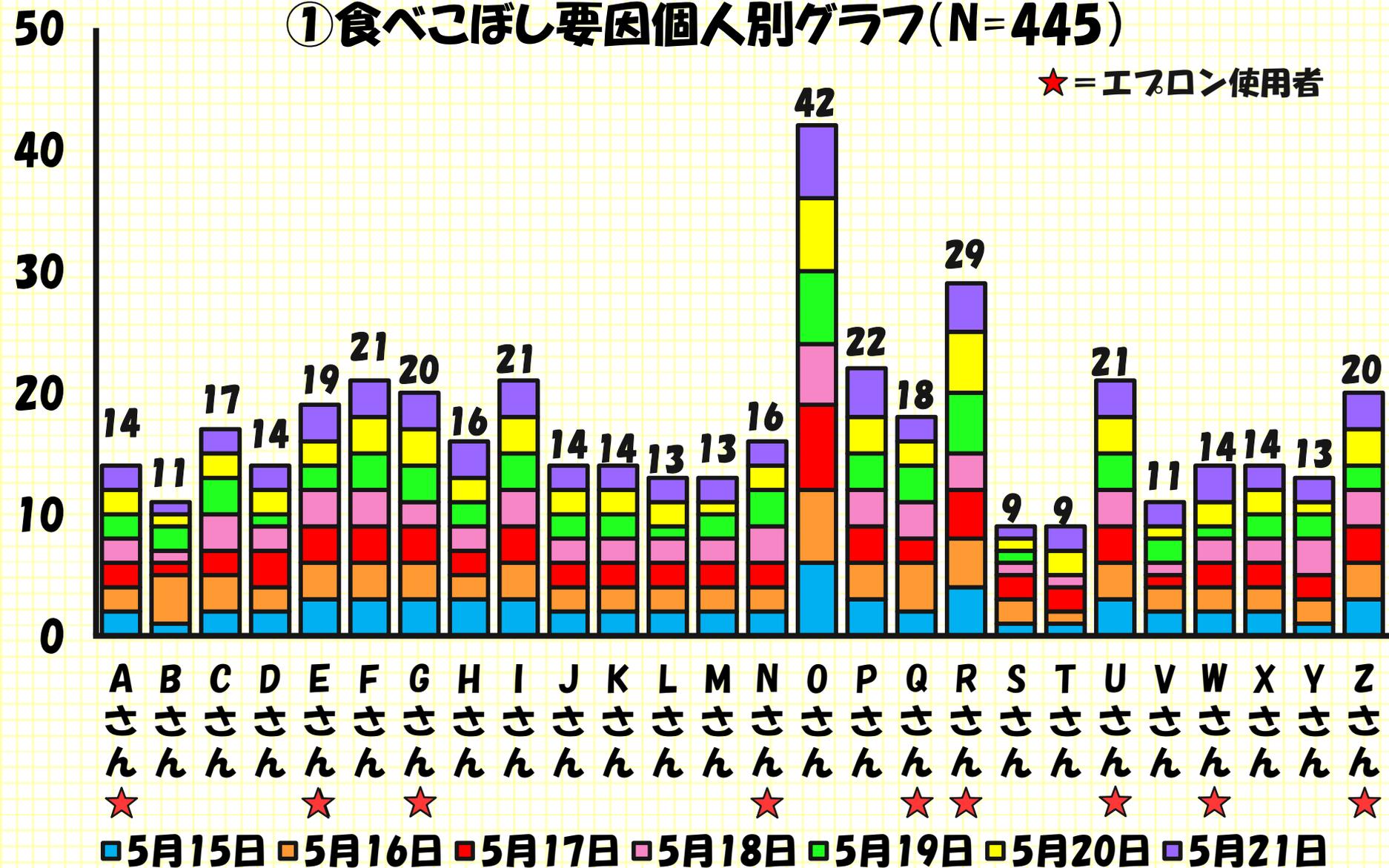
5月15日 昼食時	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	項目別 計	項目別 7日間計
スプーン・フォークが 合っていない	●	X	X	X	X	X	X	●	●	X	X	X	X	X	●	X	X	●	X	X	●	X	X	X	X	X	6	42
座面の高さが合っていない	X	X	X	X	X	●	X	X	X	X	X	X	X	X	●	●	●	●	X	X	X	X	X	X	X	X	5	35
椅子位置が合っていない	X	X	X	X	●	●	●	●	X	●	X	●	X	X	●	●	●	●	X	X	X	●	X	X	●	●	13	87
集中して食べていない	●	X	●	●	X	X	●	X	X	X	X	X	●	●	●	●	X	X	X	X	X	X	●	●	X	●	11	79
かき込んで食べている	X	X	X	X	●	X	●	X	●	X	●	●	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	5	48
食器を持って食べていない	X	●	●	●	●	●	X	X	X	●	●	X	●	●	●	X	X	X	●	●	●	●	●	●	X	●	17	119
食器が合っていない	X	X	X	X	X	X	X	●	●	X	X	X	X	X	●	X	X	●	X	X	●	X	X	X	X	X	5	35
個人別計	2	1	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	6	3	2	4	1	1	3	2	2	2	1	3		総計 445
7日間計	14	11	17	14	19	21	20	16	21	14	14	13	13	16	42	22	18	29	9	9	21	11	14	14	13	20	総計 445	

<現状把握2-4>

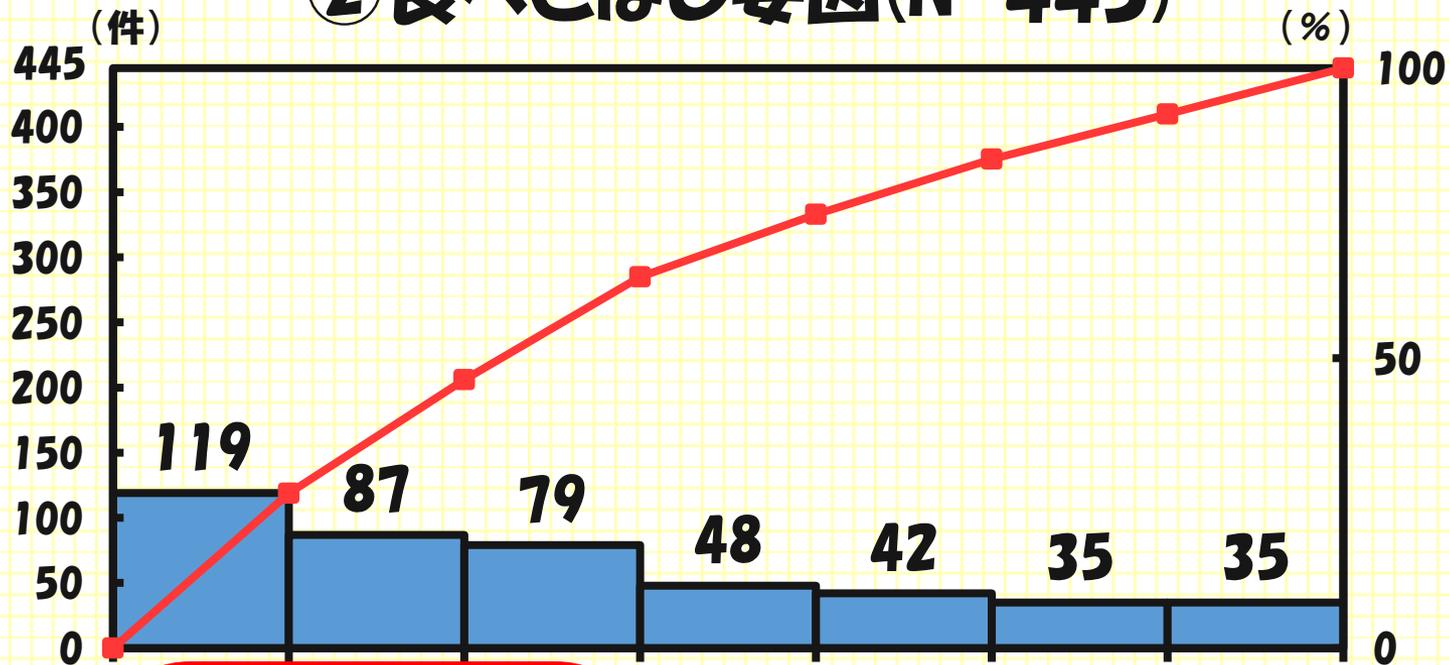
(件)

① 食べこぼし要因個人別グラフ(N=445)

★ = エフロン使用者



② 食べこぼし要因(N=445)



食器を持っていない
椅子の位置が合っていない
集中して食べていない

かき込んで食べている
スプーン・フォークが合っていない
食器が合っていない
座面の高さが合っていない

<現状把握3>

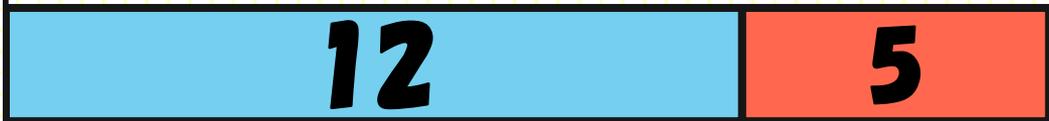
利用者の方26名中、回答可能な17名にアンケート実施しました。

<現状把握3-1>アンケートグラフ

食べこぼしに関するアンケート(N=17)

□はい □いいえ (名)

①食べこぼしをしている自覚
はありますか？



②姿勢
ですか？

③使用
ですか？

④ちゃんと使えて
ますか？

⑤スプーンやフォークは使っ
ていますか？

⑥食器は使いやすいですか？

実際には食べこぼしがある状況…



0% 50% 100%

〈現状把握3-2〉

26名のエフロン使用状況を調査しました

週間の食事摂取状況

中心
食べこぼし

は、
に
った...

エフロン使用の要否
についてマニュアル化
されていない！



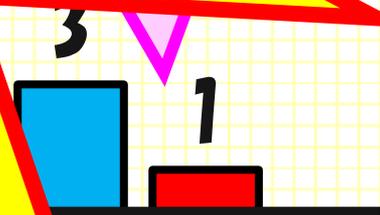
3回

6回

7回

エフロン有
(N=10)

エフロン無
(N=16)

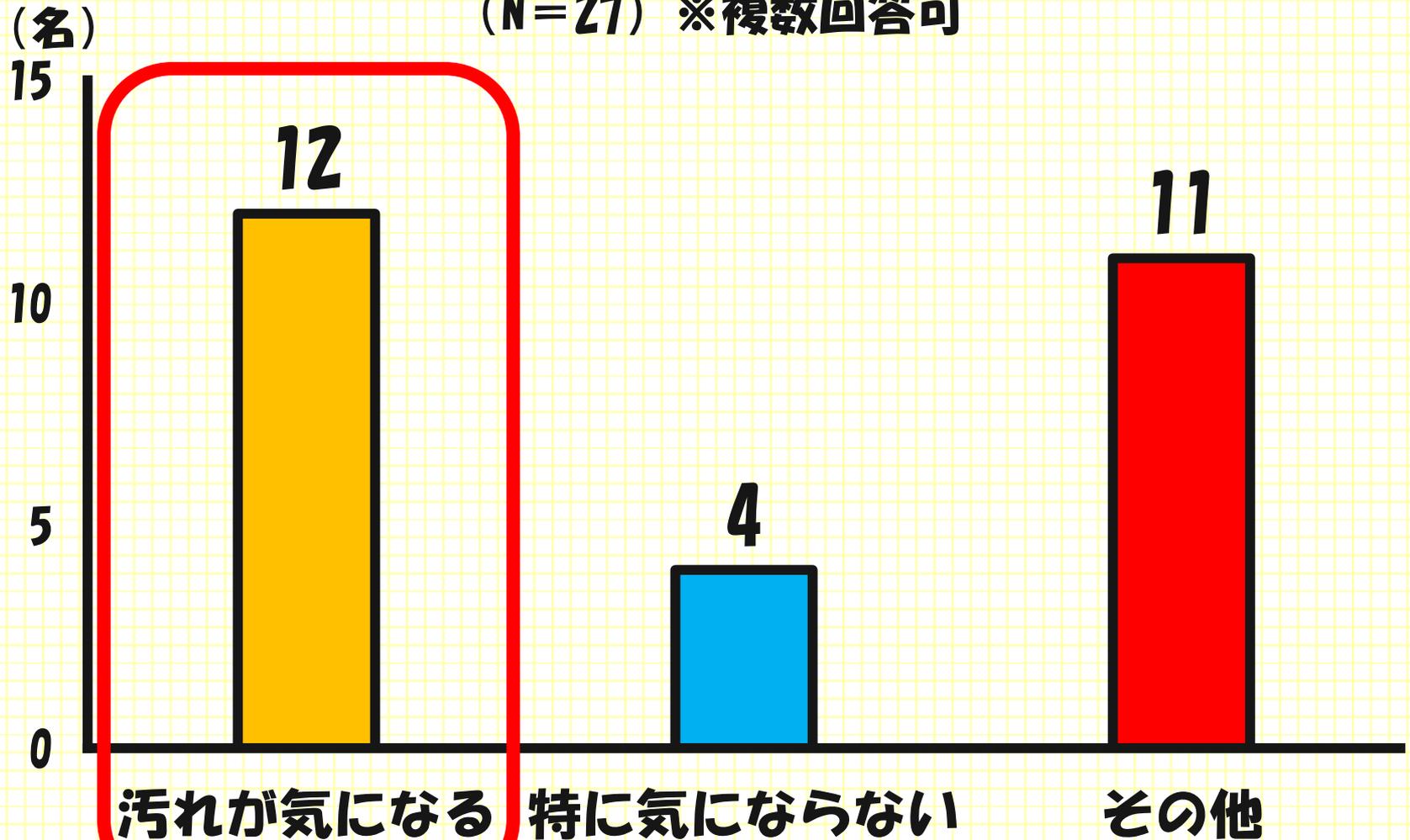


現状把握4

食堂清掃当番や、委員会に参加されている利用者の方23名に食べこぼしについてアンケートを実施しました。

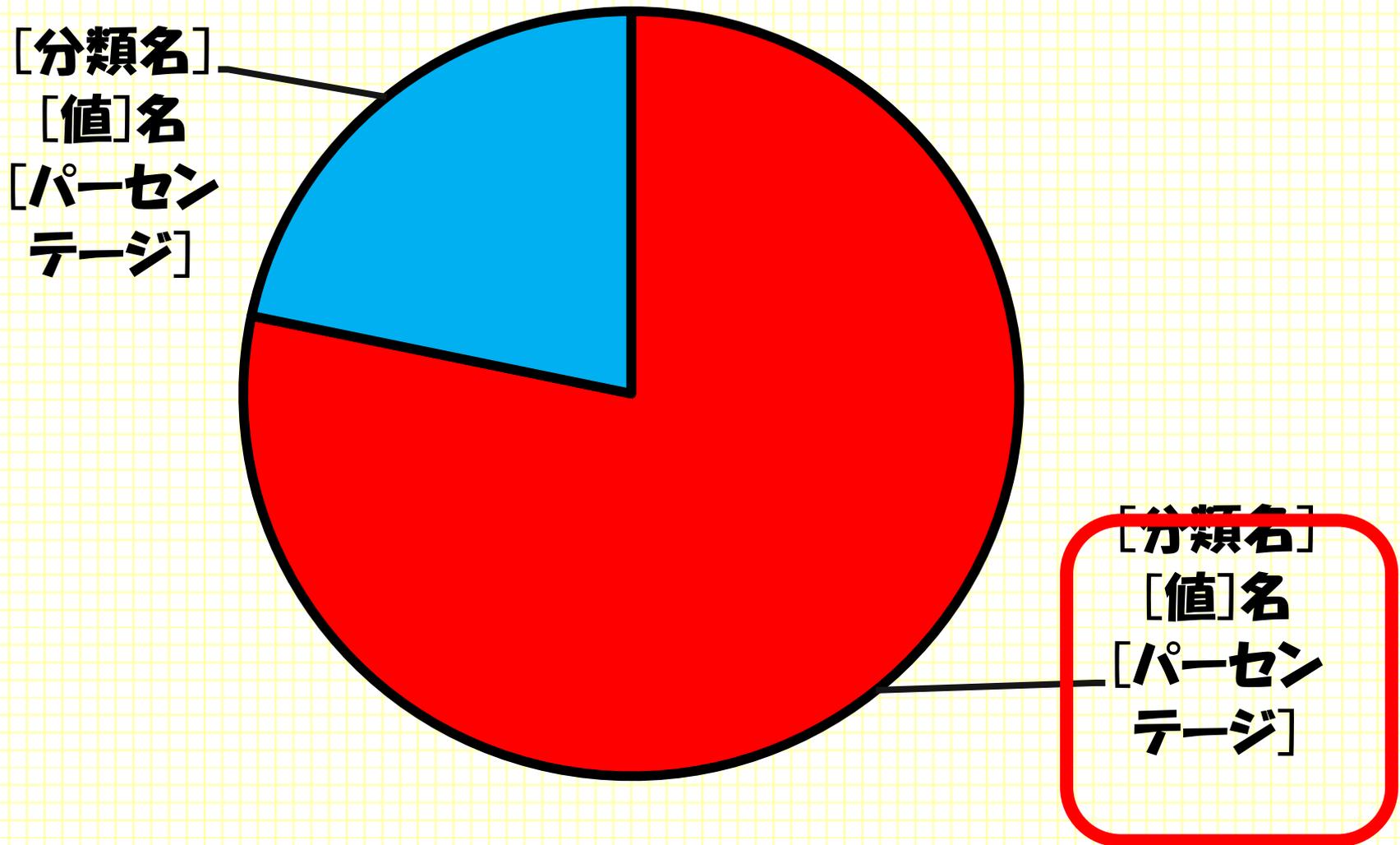
①食べこぼしについてどう思いますか？

(N=27) ※複数回答可

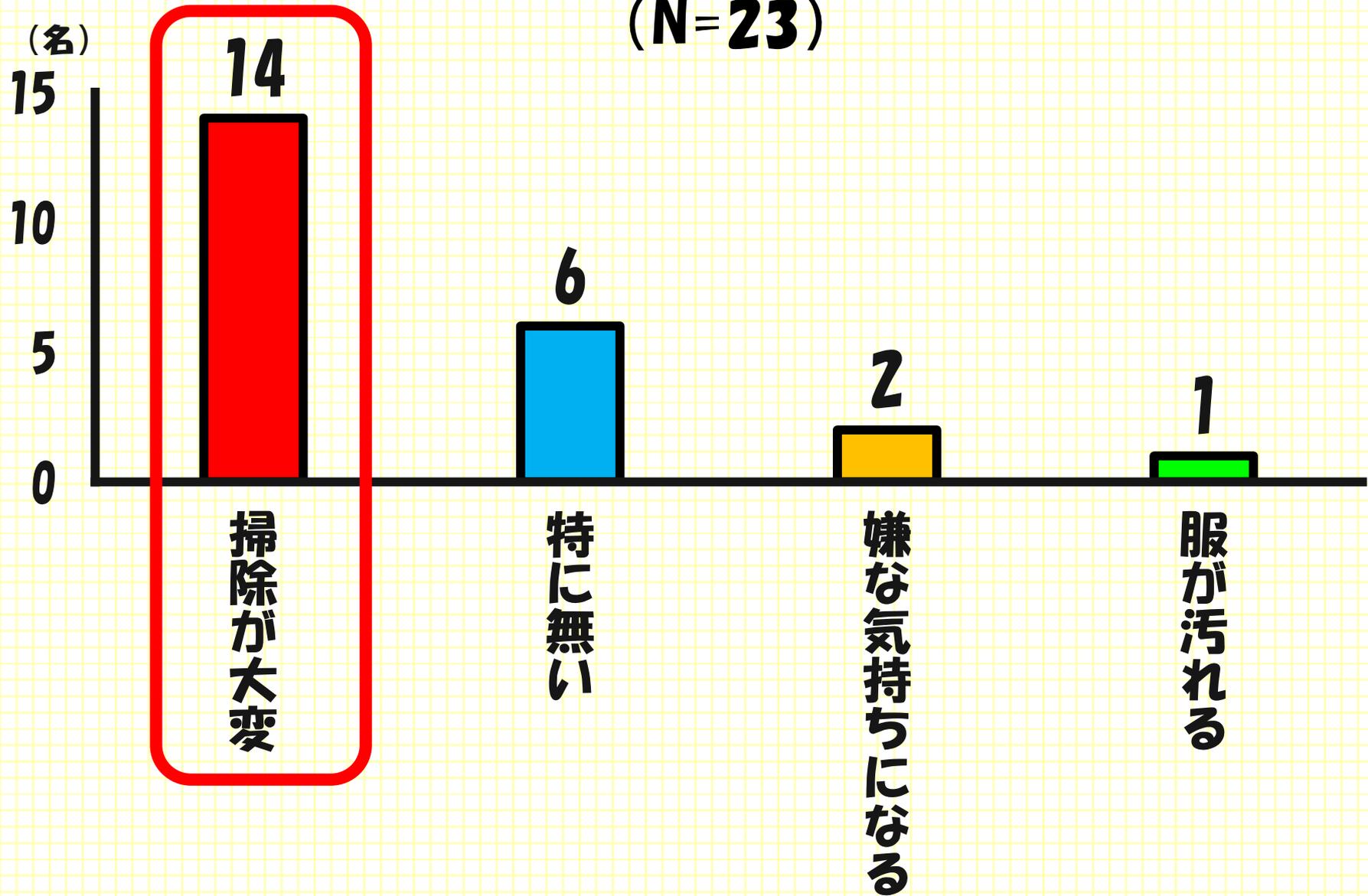


作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

②現在、食べこぼしをしている人が多いと感じますか？(N=23)



③ 食べこぼしについて困ったことはありますか？ (N=23)



現状把握5

職員23名に食べこぼしについてアンケートを実施しました。

食べこぼしの原因を知っていますか？

(N=23)

[分類名]

[値]名

知っているにも関わらず、
改善に繋がっていません...

[分類名]

[値]名

[パーセン

テージ]

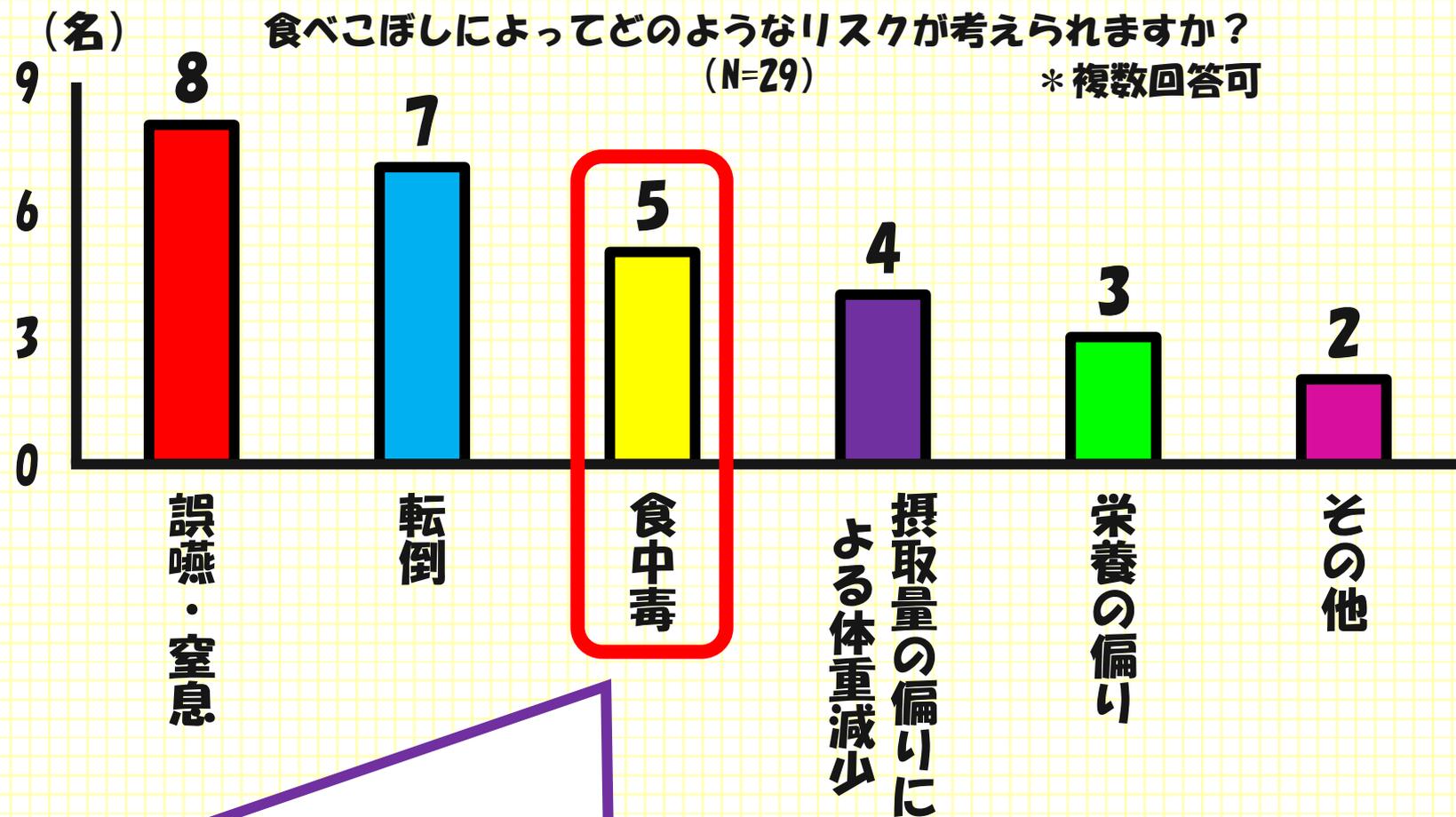
作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

<現状把握6>

食事環境やリハビリの実施についてまとめました。

<現状把握6-1>

食べこぼしと衛生管理について管理栄養士に話を聞きました。



職員は食中毒に対する意識が低かった！！

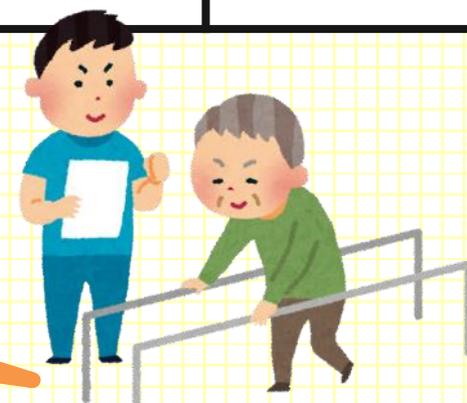
作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

〈現状把握6-2〉

せいわ園で行っている機能回復訓練について調べました。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
□腔体操 集団体操 OTリハビリ	□腔体操 集団体操 OTリハビリ	□腔体操 集団体操 OT・PT リハビリ	□腔体操 集団体操 OTリハビリ	□腔体操 集団体操 OTリハビリ	□腔体操 集団体操	□腔体操 集団体操

平日はOTがリハビリを実施！
毎週1回、PTがリハビリを実施！！



作成日：平成29年6月10日 作成者：渡邊(佳)

〈現状把握6-3〉

現状把握1-3の26名がどのくらい口腔体操に参加しているのか調べました。

口腔体操に参加している方 (N=26)

参加している

[値]名

[パーセン

26名のうち7名しか参加しておらず、
口腔体操の意味や
意識付け等の理解が不十分…。

参加して

いない

[値]名

[パーセン

テージ]

作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

現状把握から分かったこと

【利用者】

- ・ 食べこぼしは食べ物を口に運ぶ間に起こる事が多かった。
- ・ 集中して食べていない事、食器を持たずに食事をしている事、椅子の位置が合っていない事が食べこぼしの要因となっていた。
- ・ 食事の姿勢について意識していると回答はあったものの、実際には食べこぼしがあり、利用者の方の意識は低かった。
- ・ 口腔体操やリハビリで身体機能や口腔機能を維持できる機会があるが、参加している方が少なかった。

【職員】

- ・ 食べこぼしが多いと気が付いている職員が多いのに具体的に対応をしていなかった。

【環境】

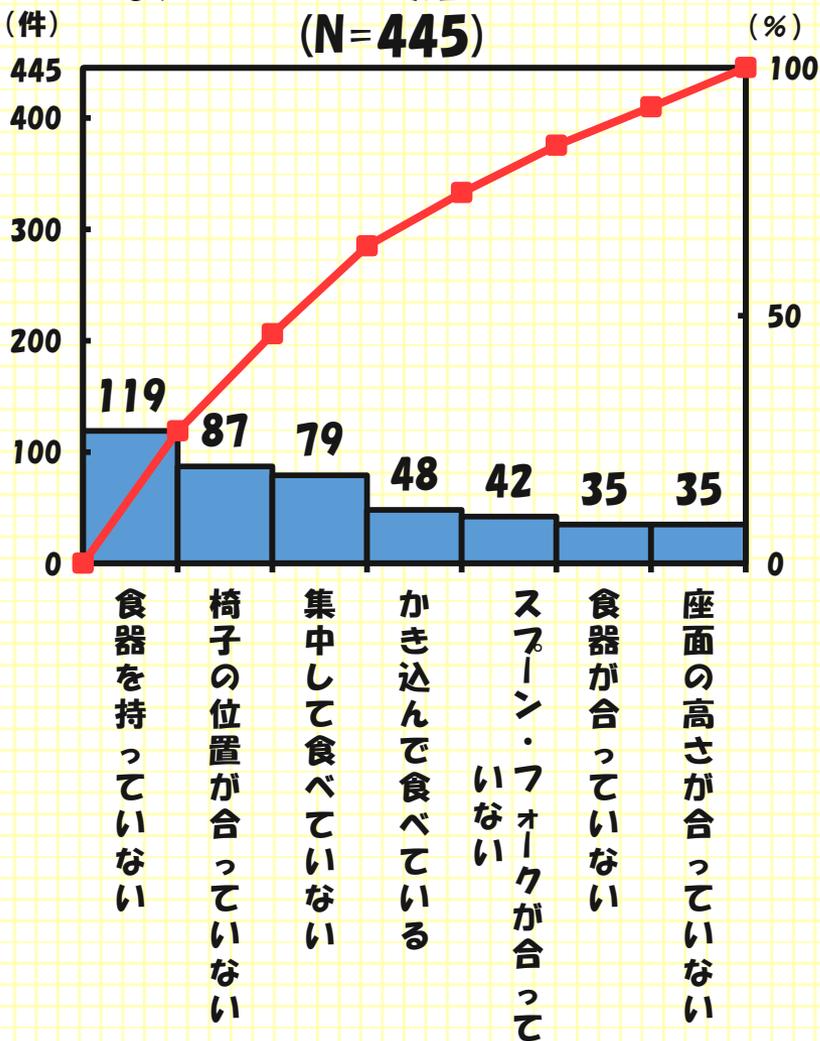
- ・ 食器や机、椅子が合わない事が食べこぼしの要因となっていた。

7、目標の設定

現状把握2-4のグラフ②より、身体機能の要因以外の項目でパレート図を作成しました。

現状把握2-4の食べこぼしの要因より

食べこぼしの要因について



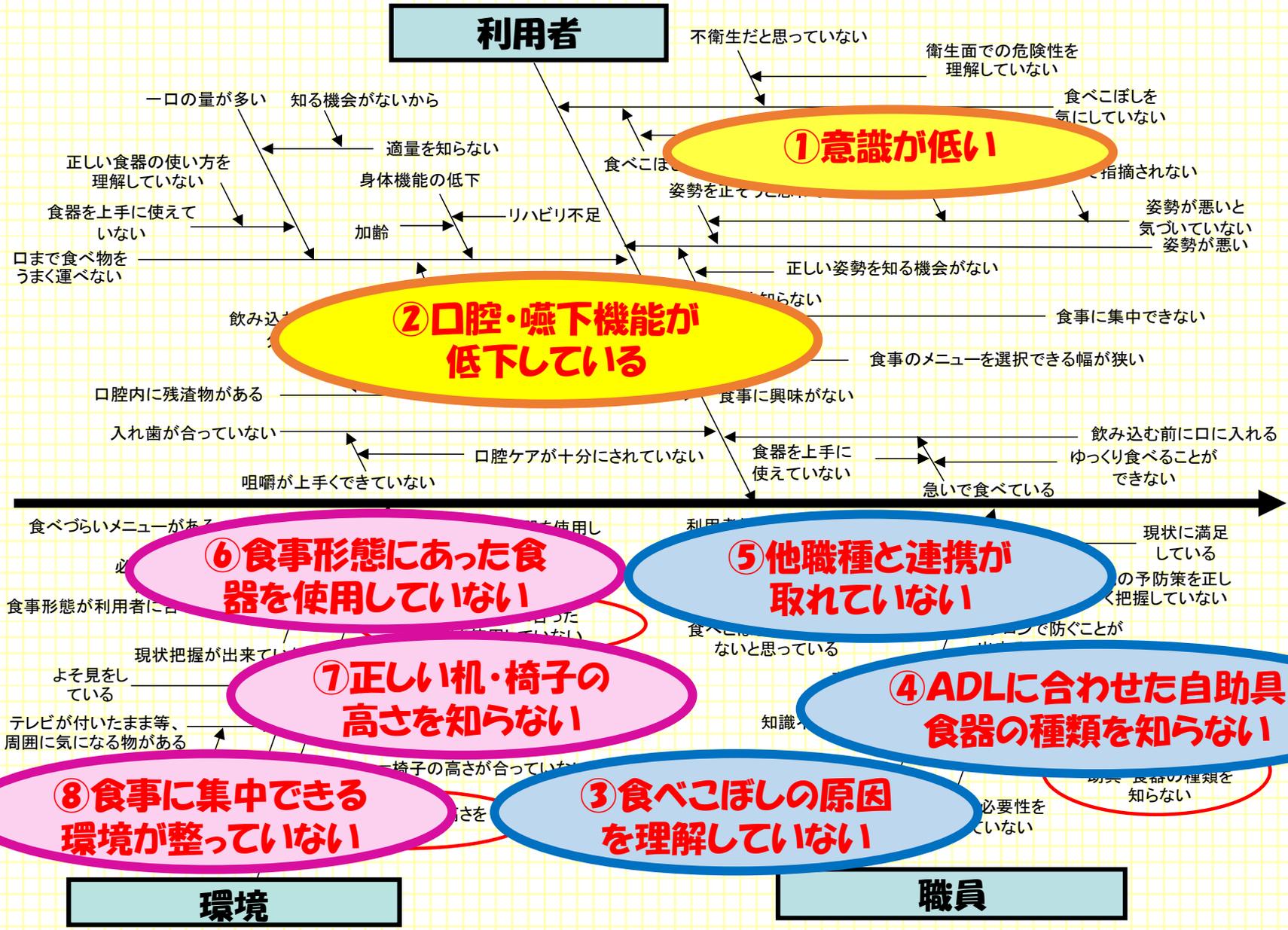
**食べこぼし要因
445件を**

**7月31日
までに**

**64%減の
160件に
する!**

作成日:平成29年6月10日 作成者:渡邊(佳)

8、要因解析



食べこぼしがある

9、対策の立案

	対策要因	どうする	担当者	場所	いつまでに
利用者	①食べこぼしへの意識が低い	・食べこぼしを可視化する(対策1-①) ・食育セミナーや食べ方についてのロールプレイを実施する(対策1-②)	サークルメンバー	カルチャールーム	6月16日
	②口腔、嚥下機能が低下している	口腔体操を徹底する(対策2)	職員	ホール	6月17日
職員	③食べこぼしの原因を理解していない	食べこぼしについての勉強会を開き、職員間で周知徹底する(対策1-③)	サークルメンバー	カルチャールーム	6月20日
	④ADLに合わせた自助具・食器の種類を知らない	嘱託医・看護師・OT・PTと連携し、利用者の方のADL情報の回覧板を作成する。職員に閲覧してもらい、誰にどのような自助具が必要なのか現状を把握してもらう(対策3-②)	職員	事務所	6月16日
	⑤他職種と連携が取れていない	委員会の活用(対策4)	サークルメンバー	カルチャールーム	6月21日
環境	⑥食事形態にあった食器を使っていない	看護師・管理栄養士・OT・PTと連携し、個人に合った適切な食器を準備する(対策3-①)	サークルメンバー	食堂	6月15日
	⑦利用者の方に合わせた正しい机・椅子の位置と高さを理解していない	・椅子の手すりに目印を付け、椅子を引いてもらう(対策5-①) ・利用者の方に合わせた足踏み台を準備し、適切な高さで使用できるようにする(対策5-②)	サークルメンバー	事務所	6月23日
	⑧食事に集中できる環境が整っていない	食事前のチェックリストを作成する(対策6)	サークルメンバー	事務所	6月22日

作成日:平成29年6月30日 作成者:渡邊(亜)

10、対策の実施

<対策1-①>

食べこぼしの可視化！



こんなに
こぼれてたんだ…

< 対策 1-② >

食育セミナー (食べ方についてのロールプレイを実施！)



悪い食べ方はどこかな???



< 対策 1 - ③ >

勉強会を行なった！



作成日：平成29年7月30日 作成者：渡邊(祐)

< 対策2 >

上半身の運動・発声練習を実施！

みんな参加してねー！



作成日：平成29年7月30日 作成者：渡邊(祐)

< 対策3-① >

症状に合わせて適した自助具の見直し！



< 対策3-② >

利用者の方の顔写真と自助具を
セットにした情報を回覧！



作成日:平成29年7月30日 作成者:渡邊(祐)

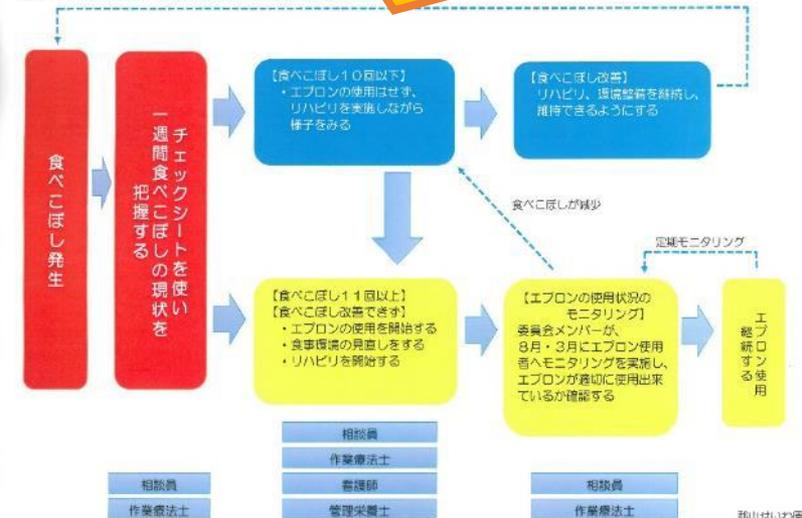
< 対策4 >

おいしい食事をつくろう委員会等で、「食べ方について」を検討事項に入れた！

食事エプロン使用の
マニュアルを作成！



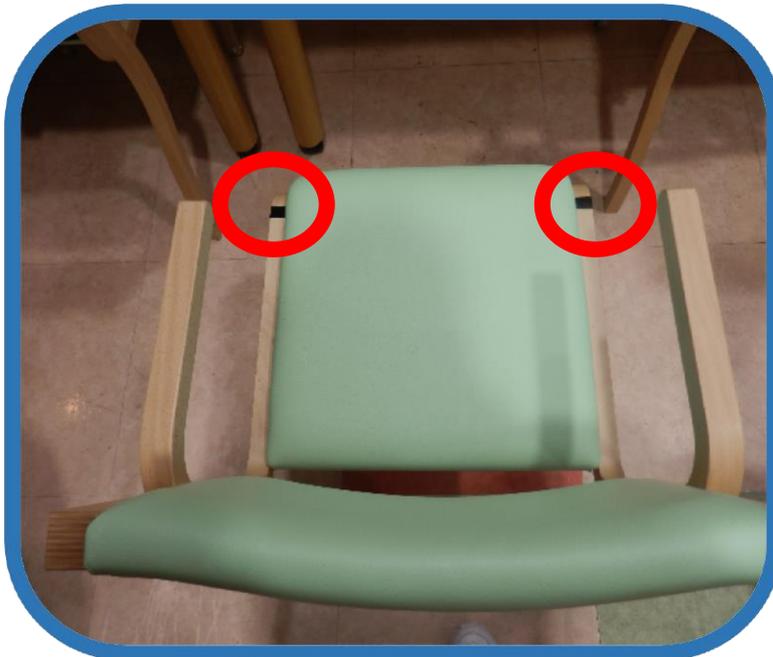
食事エプロン使用マニュアル



作成日:平成29年7月30日 作成者:渡邊(祐)

< 対策5-① >

机と椅子が正しい位置になるようにテープで目印を付け、分かりやすくした！



< 対策5-② >

利用者の方に合わせた踏み台を作成！



作成日：平成29年7月30日 作成者：渡邊(祐)

< 対策6 >

食事前のチェックリストを作成！

チェックよし！



食事に集中できる
環境づくりを徹底しよう！



《食事前のチェック項目》

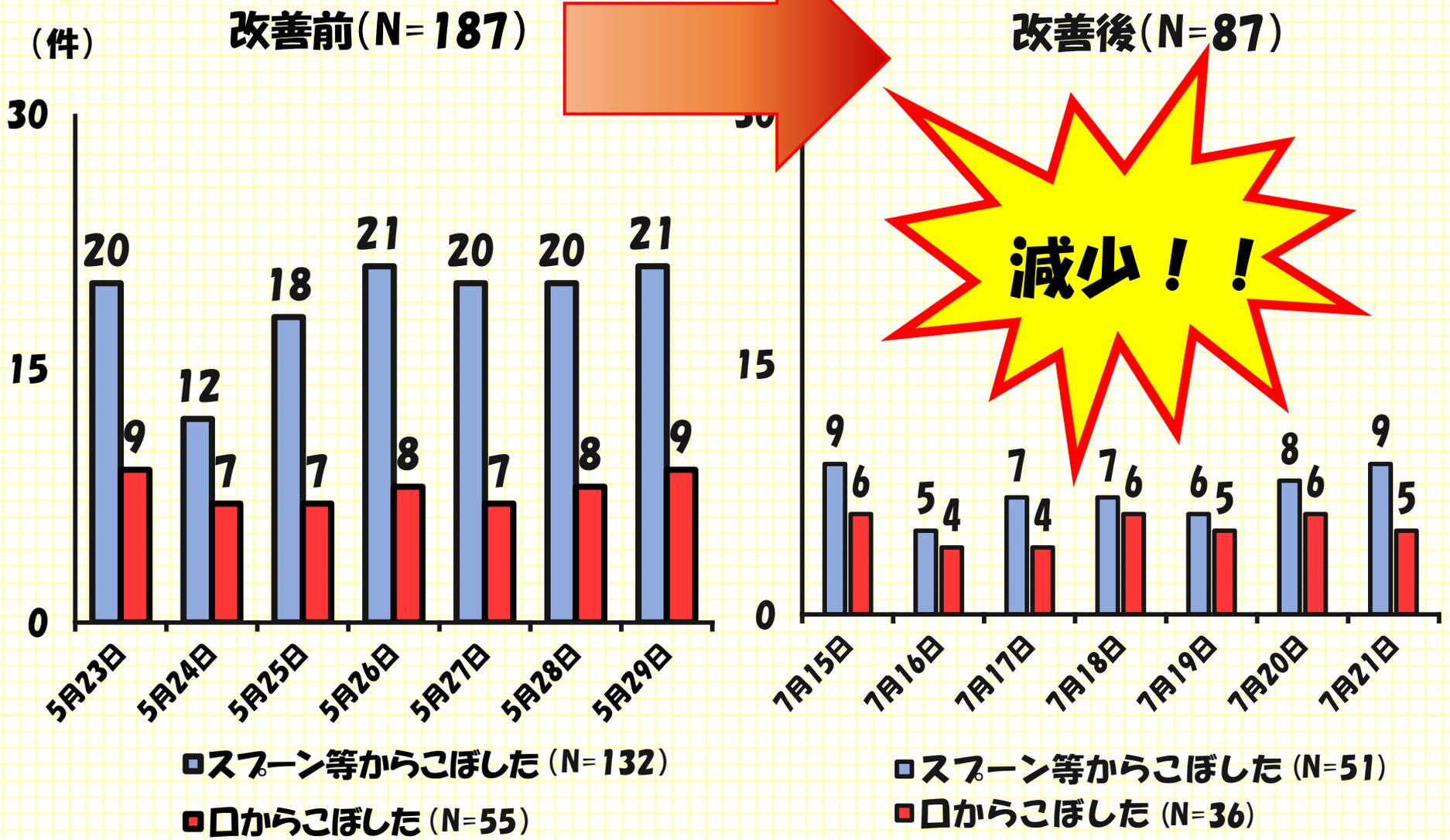
- 1. テレビを消しましたか？ 
- 2. 食堂ホールの周りは整理整頓出来ていますか？
- 3. 机・イスに不備はありませんか？
- 4. 手洗い場の物品は適切に設置できていますか？ 
- 5. 配膳ミスはありませんか？
- 6. 自助具は適切に行き渡っていますか？ 

誤嚥防止の為、正しい姿勢で
召し上がっていただけるよう
声かけを行いましょ！



11. 効果の確認

〈効果の確認1-1〉 食べこぼしがどのタイミングで起こったかを比較しました。



<効果の確認1-2>エフロンのシミ分布について比較しました。

● = 改善前 (N=462) ● = 改善後 (N=196)

77か所 17% → 改善後 → 43か所 22%

シミの範囲は変わらず、
小さく中心付近に
集中しているが、
汚れが目立たなくなった！

98か所 21% → 改善後 → 38か所 19%

シミの範囲は変わらず、
小さく中心付近に
集中しているが、
汚れが目立たなくなった！

161か所 35% → 改善後 → 69か所 35%

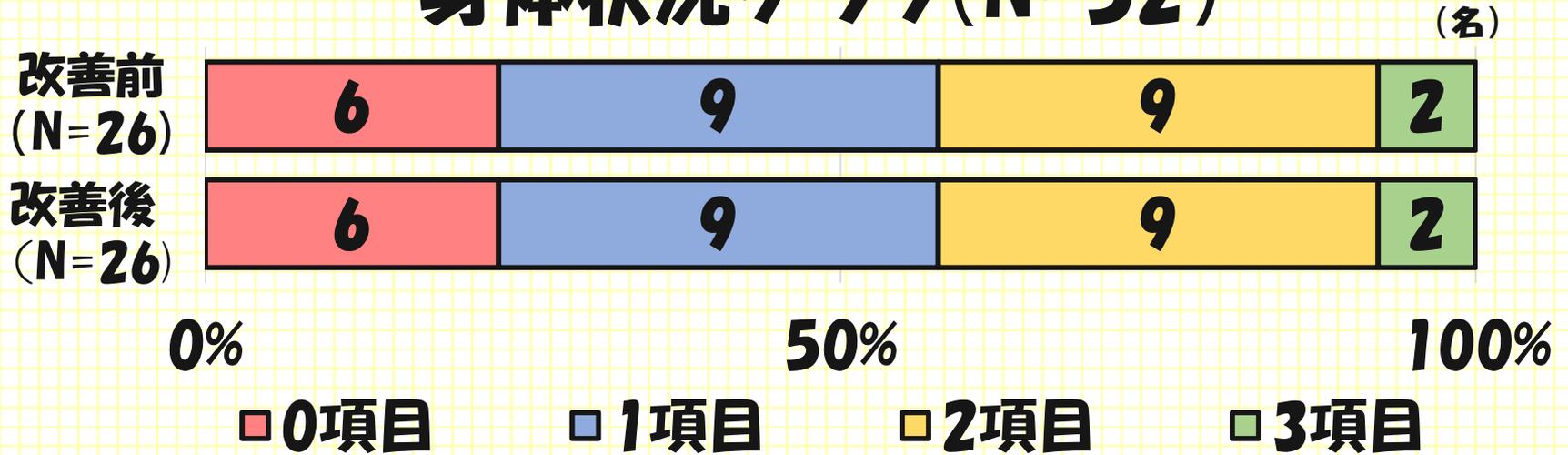
シミの範囲は小さくなり、
食べこぼし量が
減った！

126か所 27% → 改善後 → 46か所 24%

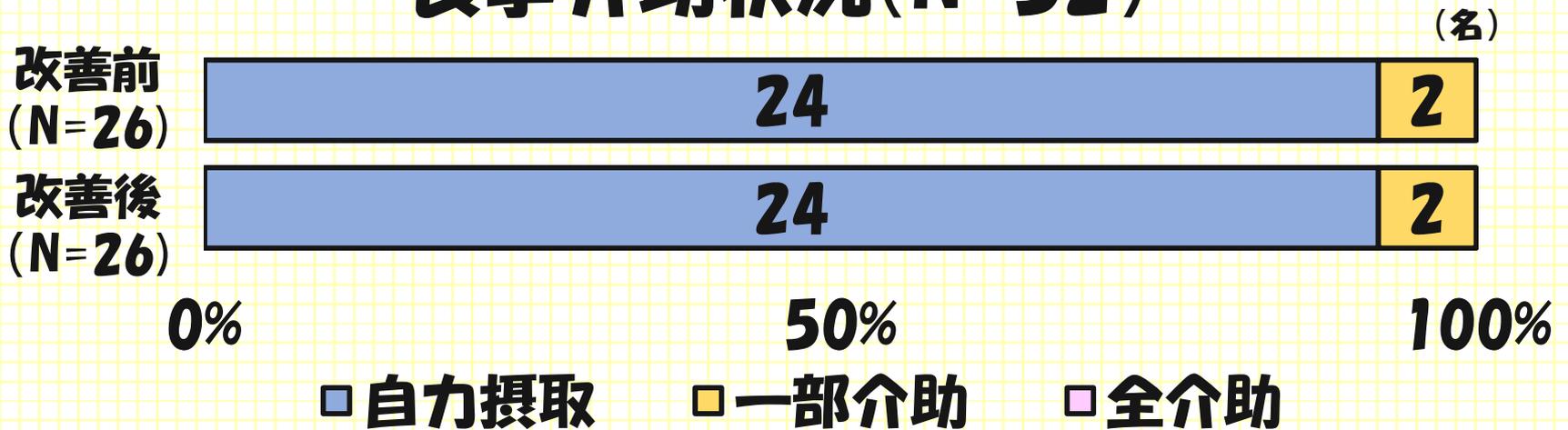
シミの範囲は小さくなり、
食べこぼし量が減った！

<効果の確認1-3>身体状況、食事介助状況を比較しました。

身体状況グラフ(N=52)

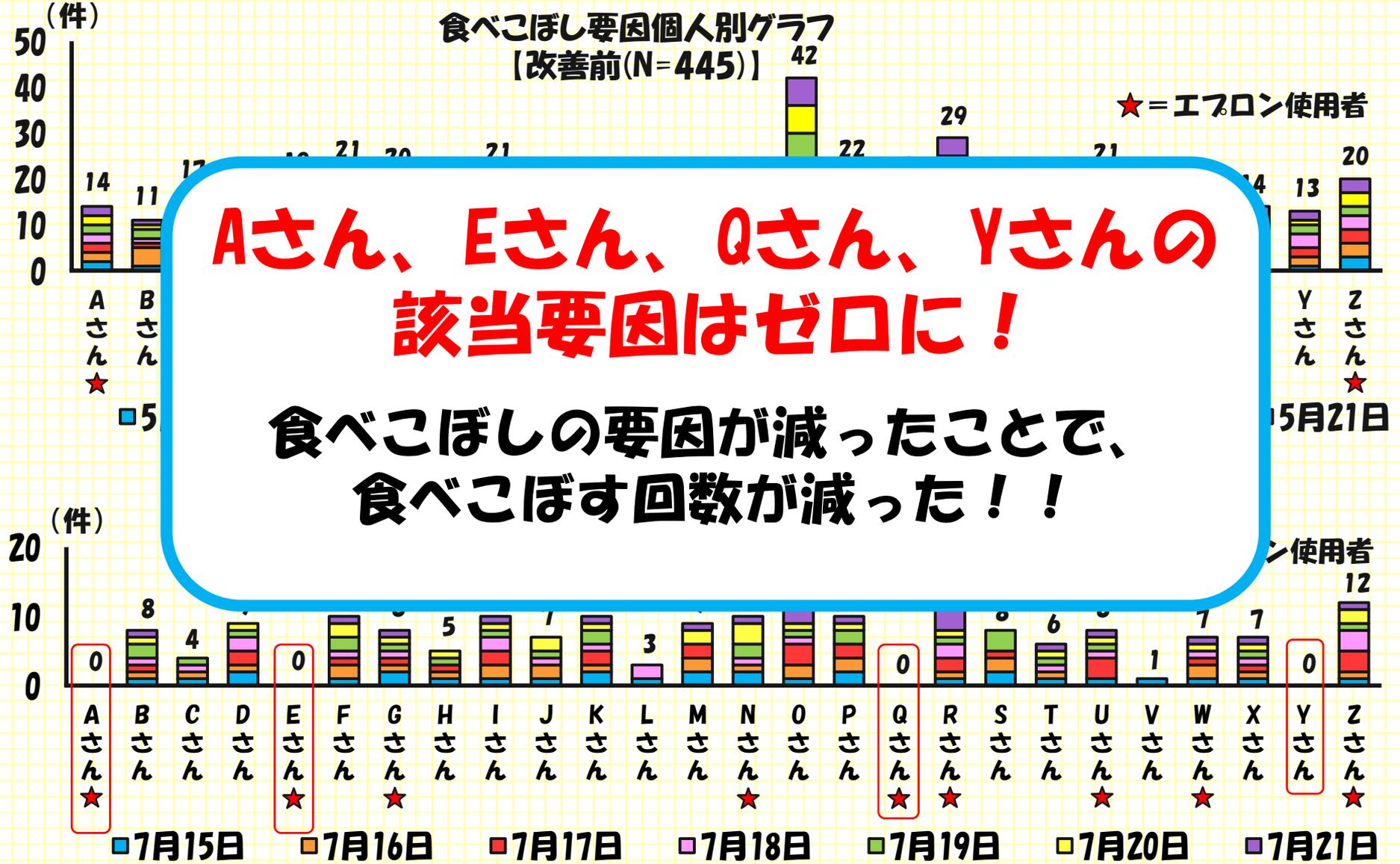


食事介助状況(N=52)



<効果の確認1-4>

26名の食べこぼし要因の該当項目数について比較しました。

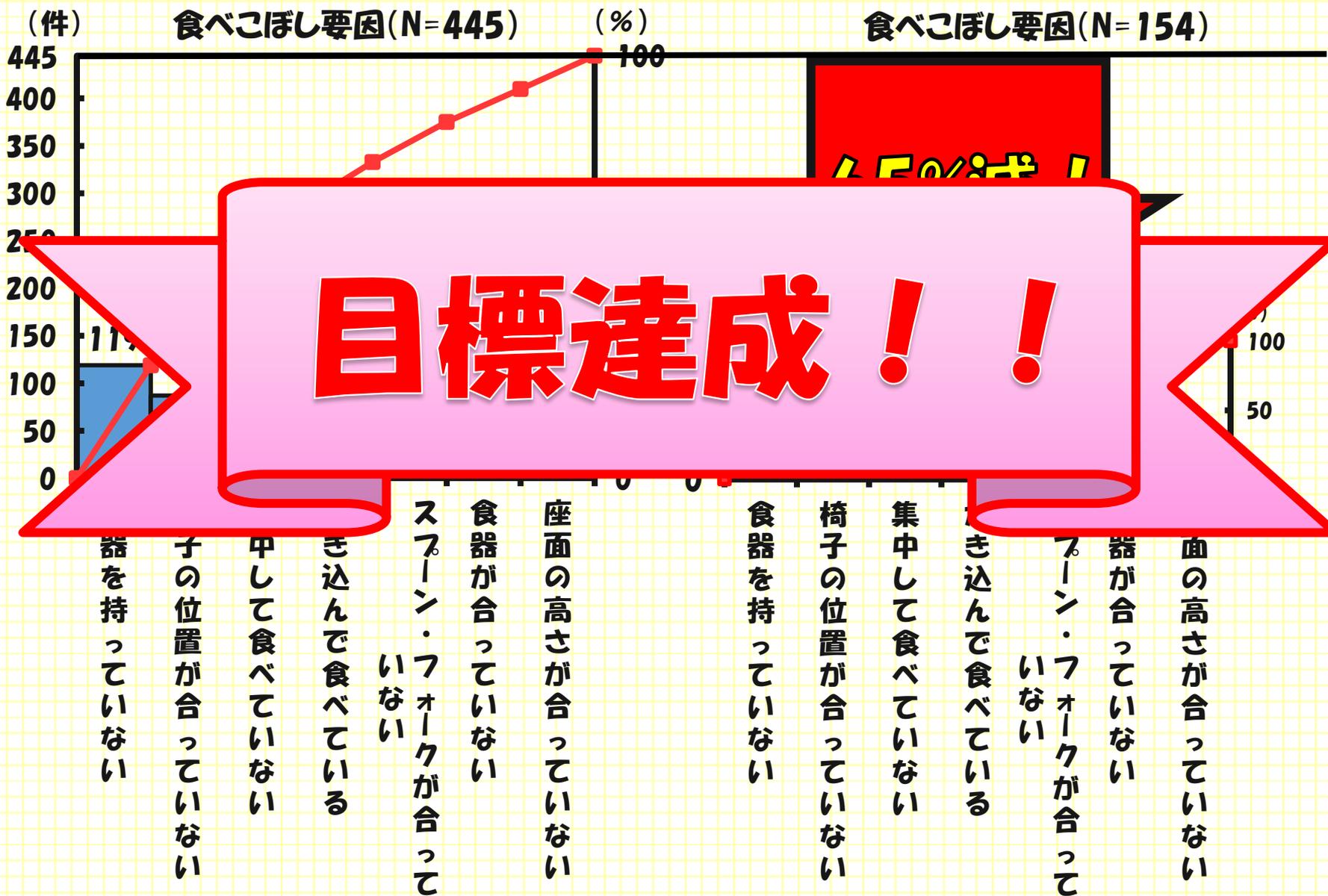


**Aさん、Eさん、Qさん、Yさんの
該当要因はゼロに！**

**食べこぼしの要因が減ったことで、
食べこぼす回数が減った！！**

効果の確認2 26名の食事環境について比較しました。

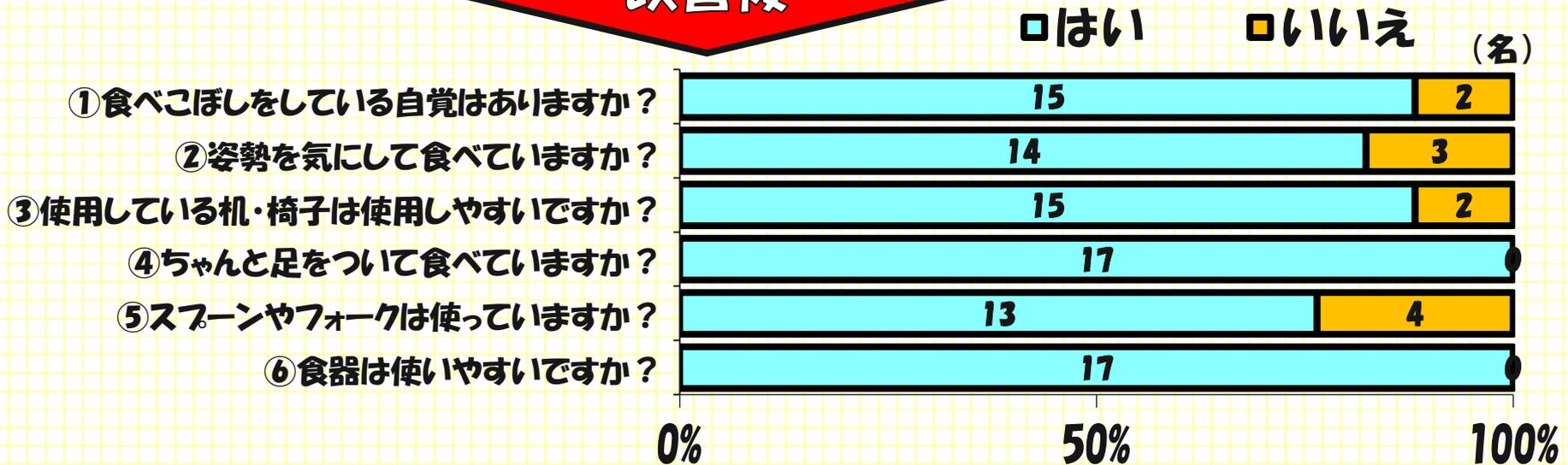
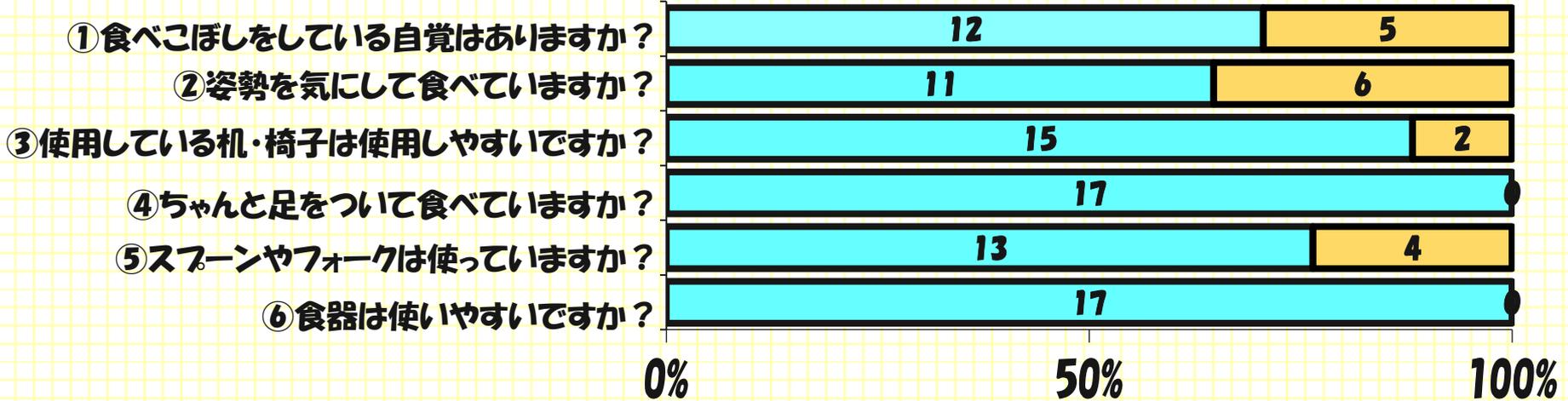
<効果の確認2-1> 食べこぼし要因を比較しました。



<効果の確認2-2>

26名のうち回答可能な17名のアンケートグラフを比較しました。

食べこぼしに関するアンケート(N=17) □はい □いいえ (名)



<効果の確認2-3> エフロン使用状況を比較しました。

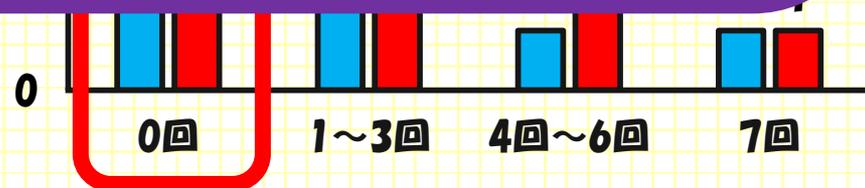
(名) 1週間の食べこぼし状況 5月15日~5月21日 (N=26) 1週間の食べこぼし状況 7月15日~7月21日 (N=26)

エフロンを外して食べられる方が
3名増加！！

全体で、食べこぼしをしなくなった方が
12名増加！！



■エフロン有 (N=10) ■エフロン無 (N=16)

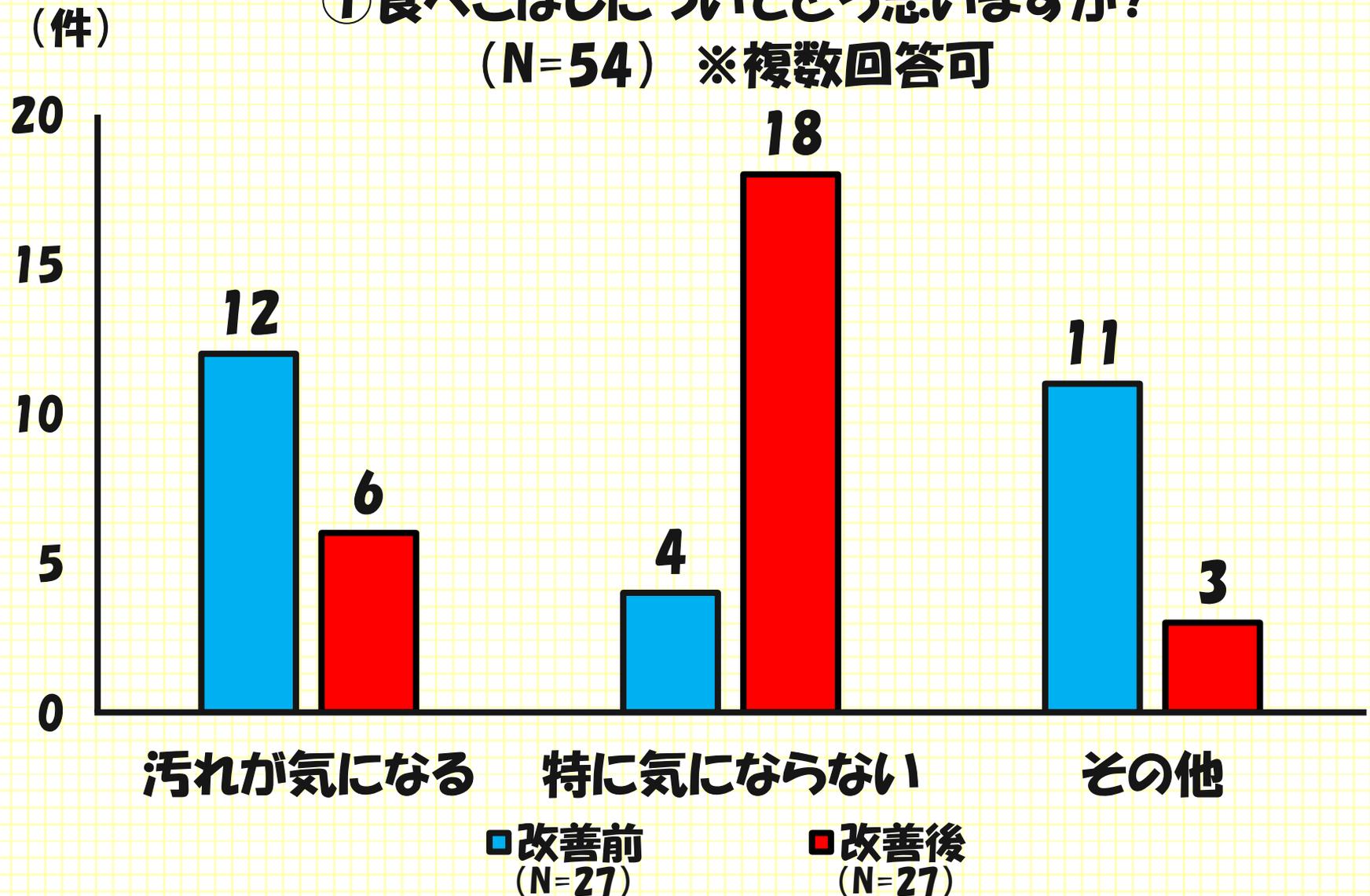


■エフロン有 (N=10) ■エフロン無 (N=16)

効果の確認3 アンケートグラフを比較しました。

＜効果の確認3-1＞利用者アンケートのグラフ

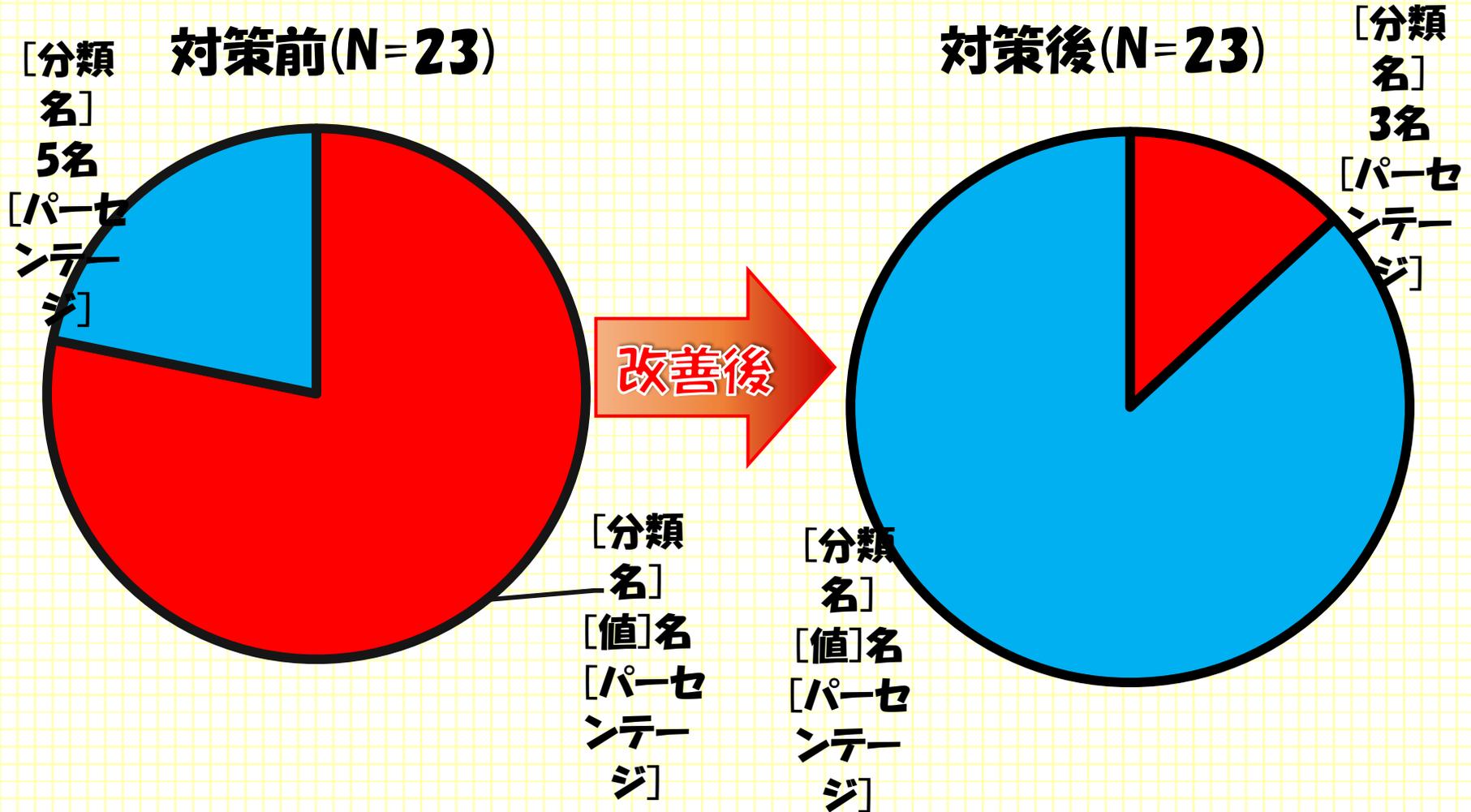
①食べこぼしについてどう思いますか？
(N=54) ※複数回答可



作成日:平成29年8月7日 作成者:宗形

<効果の確認3-1> 利用者アンケートのグラフ

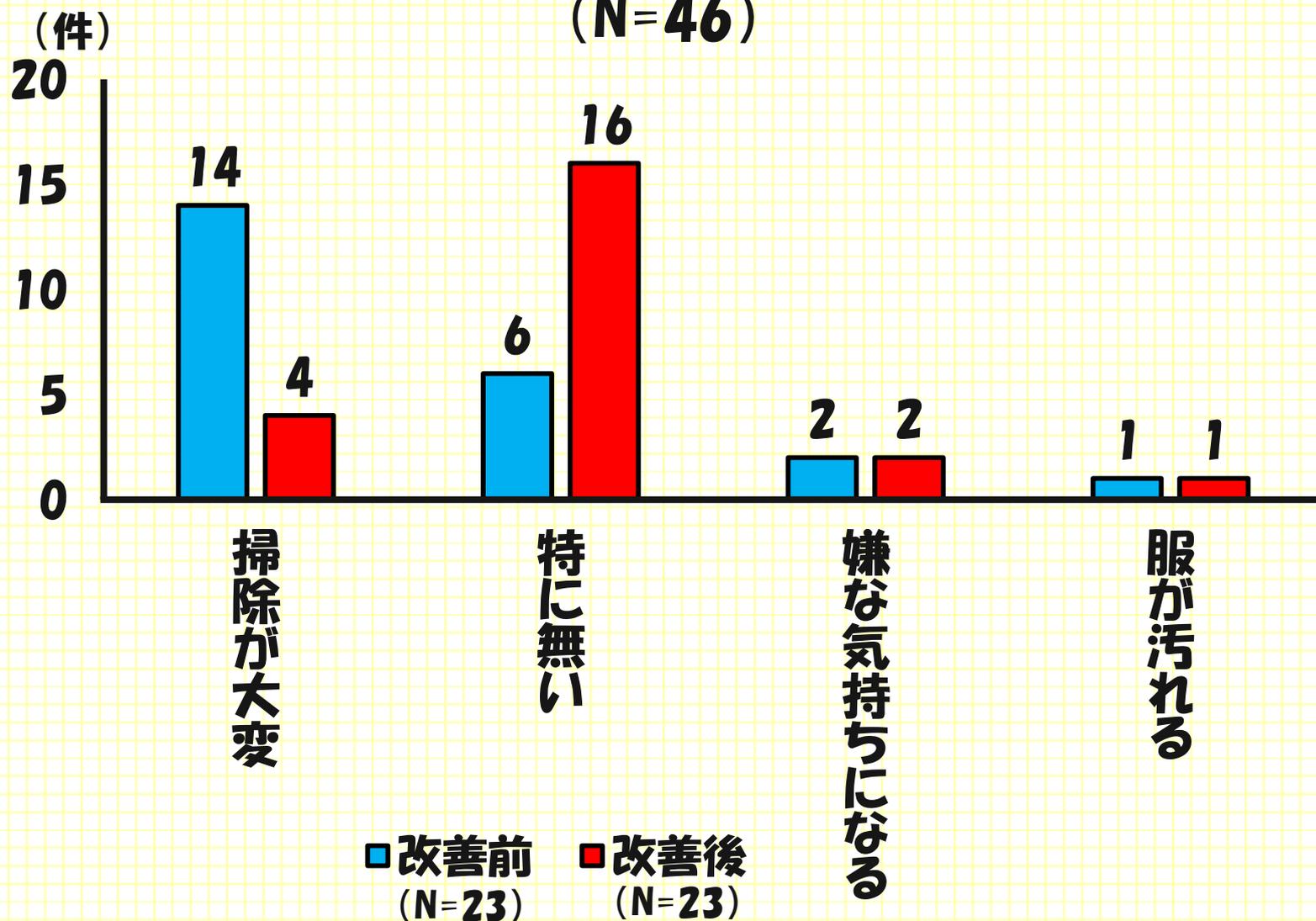
②現在、食べこぼしをしている人が多いと感じますか？



<効果の確認3-1> 利用者アンケートのグラフ

③ 食べこぼしについて困ったことはありますか？

(N=46)

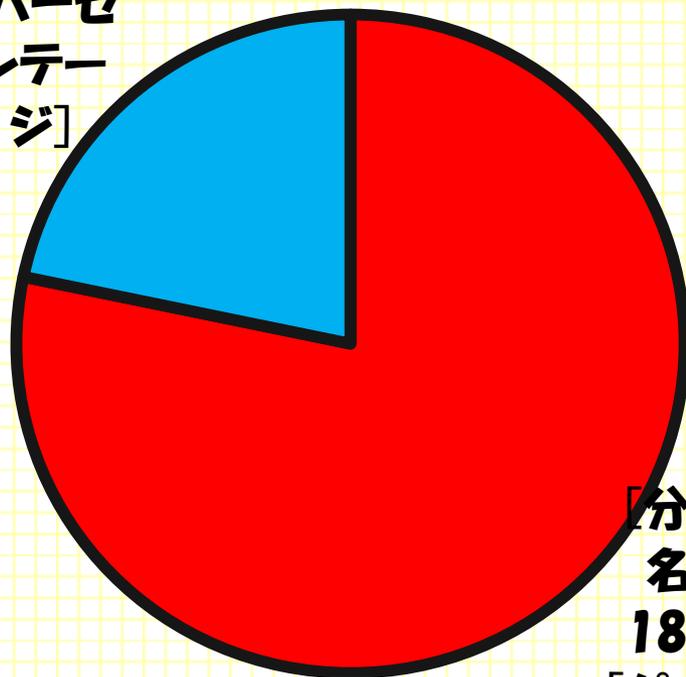


作成日:平成29年8月7日 作成者:宗形

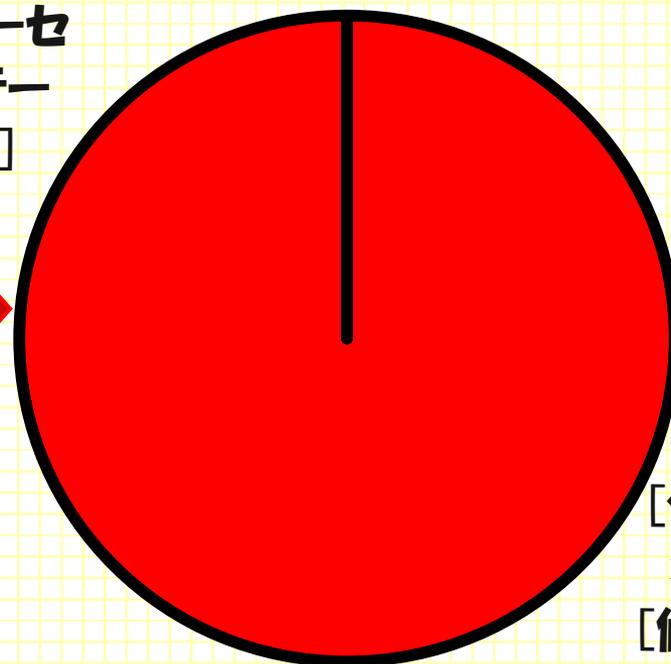
〈効果の確認3-2〉 職員アンケートのグラフ

食べこぼしの原因を知っていますか？

[分類名]
改善前(N=23)
[値]名
[パーセンテージ]



[分類名]
改善後(N=23)
0名
[パーセンテージ]



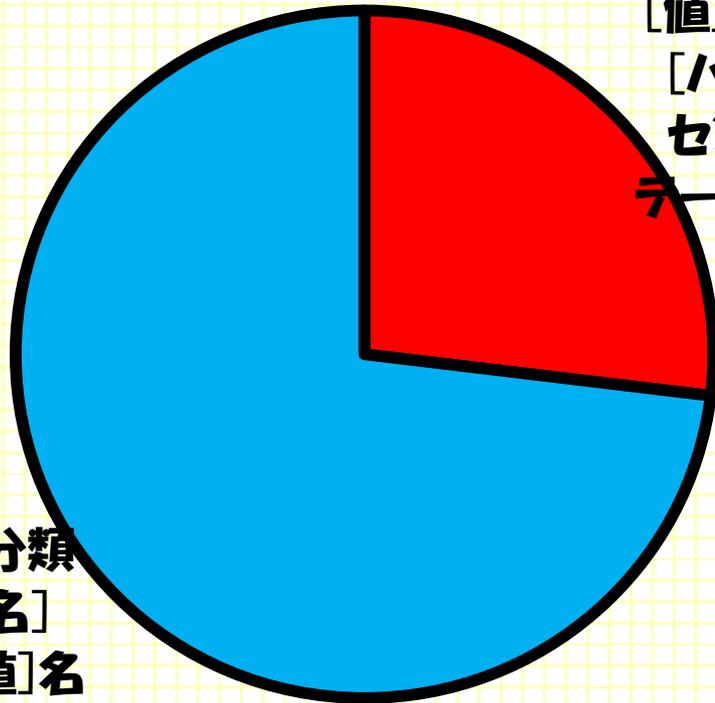
[分類名]
18名
[パーセンテージ]

[分類名]
[値]名
[パーセンテージ]

＜効果の確認3-3＞ 口腔体操参加人数を比較しました。

口腔体操に参加している方

改善前(N=26)



[分類名]
[値]名
[パーセンテージ]

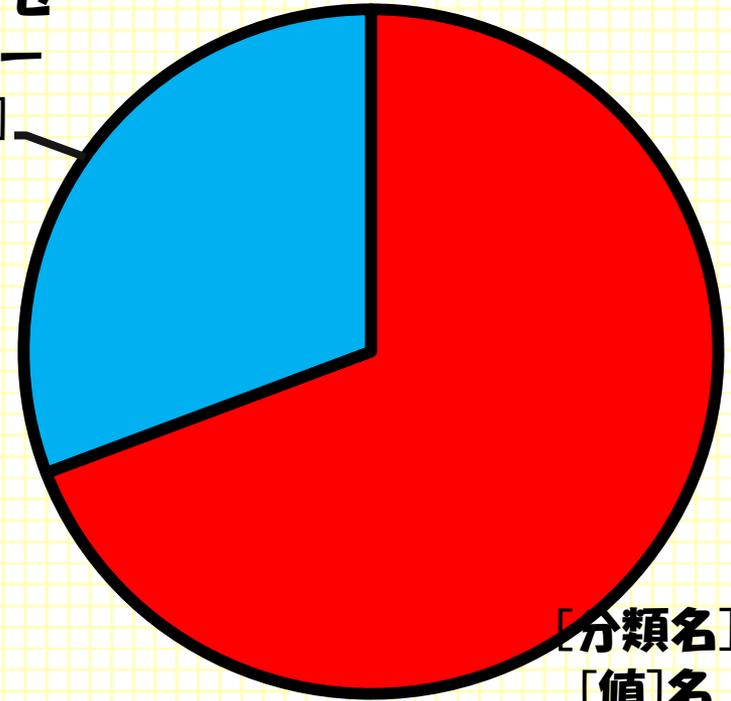
[分類名]
[値]名
[パーセンテージ]



改善後

[分類名]
[値]名
[パーセンテージ]

改善後(N=26)



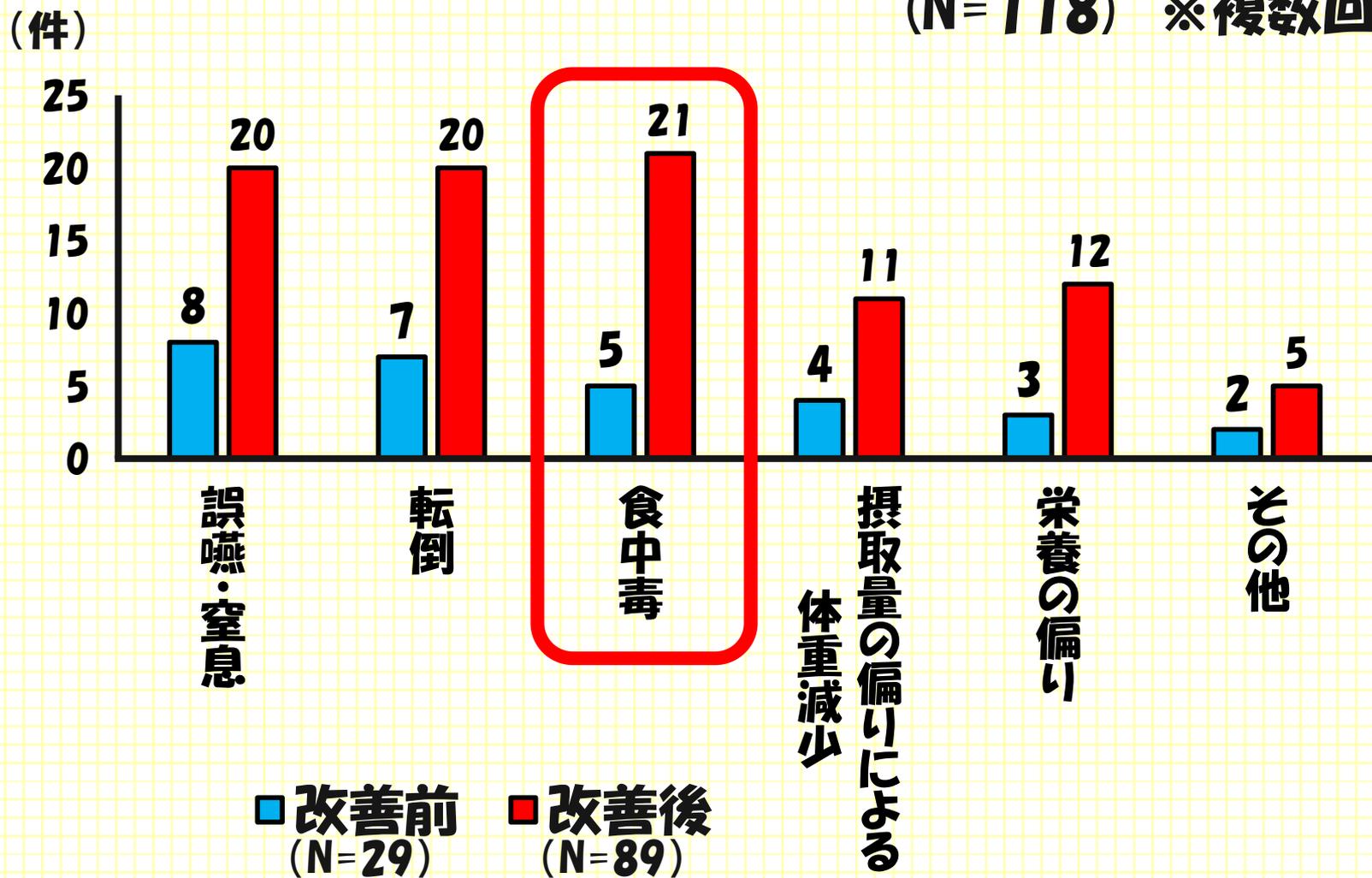
[分類名]
[値]名
[パーセンテージ]

<効果の確認3-4>

食べこぼしのリスクに対する職員の意識の比較

食べこぼしによってどのようなリスクが考えられますか？

(N=118) ※複数回答可



12、歯止め

	対策要因	いつ	場所	担当者	どのように	どうする
利用者	①食べこぼしへの意識が低い	月1回	カルチャールームで	サークルメンバーが	食育セミナーや食べ方についてのロールプレイを行ない	食べこぼしについての意識を高める
	②口腔、嚥下機能が低下している	班別活動時	ホールで	職員が	全員参加の声かけをし体操をすることで	機能維持、機能低下を予防する
職員	③食べこぼしの原因を理解していない	2ヶ月に1回	カルチャールームで	サークルメンバーが	勉強会を実施し	食べこぼしの原因を理解する
	④ADLに合わせた自助具・食器の種類を知らない	月1回	食堂 ホールで	サークルメンバーと囑託医・看護師・OT・PT・管理栄養士が	利用者の方の担当職員と見直しをし	利用者の方のADLの情報、適している自助具のカタログを作成する
	⑤他職種と連携が取れていない	月1回	カルチャールームで	サークルメンバーと囑託医・看護師・OT・PT・管理栄養士が	定期的な委員会活動やケースカンファレンスを行ない	他職種と情報共有する
環境	⑥食事形態にあった食器を使っていない	月1回	食堂 ホールで	サークルメンバーと囑託医・看護師・OT・PT・管理栄養士が	食事形態にあった食器を見直しをし	個人に合った適切な食器を準備する
	⑦その人に合わせた正しい机・椅子の位置と高さを理解していない	月1回	事務所で	サークルメンバーが	利用者個人に合った適切な椅子の位置や高さについて把握し	目印や足踏み台を準備する
	⑧食事に集中できる環境が整っていない	毎食後	食堂 ホールで	職員が	職員用・利用者用に分けてチェックリストを確認し	食事に集中できる環境を整える

13、波及効果



利用者の方からの声



- ・食べこぼしが減ったから、食堂の掃除が楽になったよ！
- ・自分に合った食器やスプーンを使うことで、食べこぼしが減らすことができた！
- ・エフロンを外して食事ができて嬉しいし、前よりも楽しく食べれる！



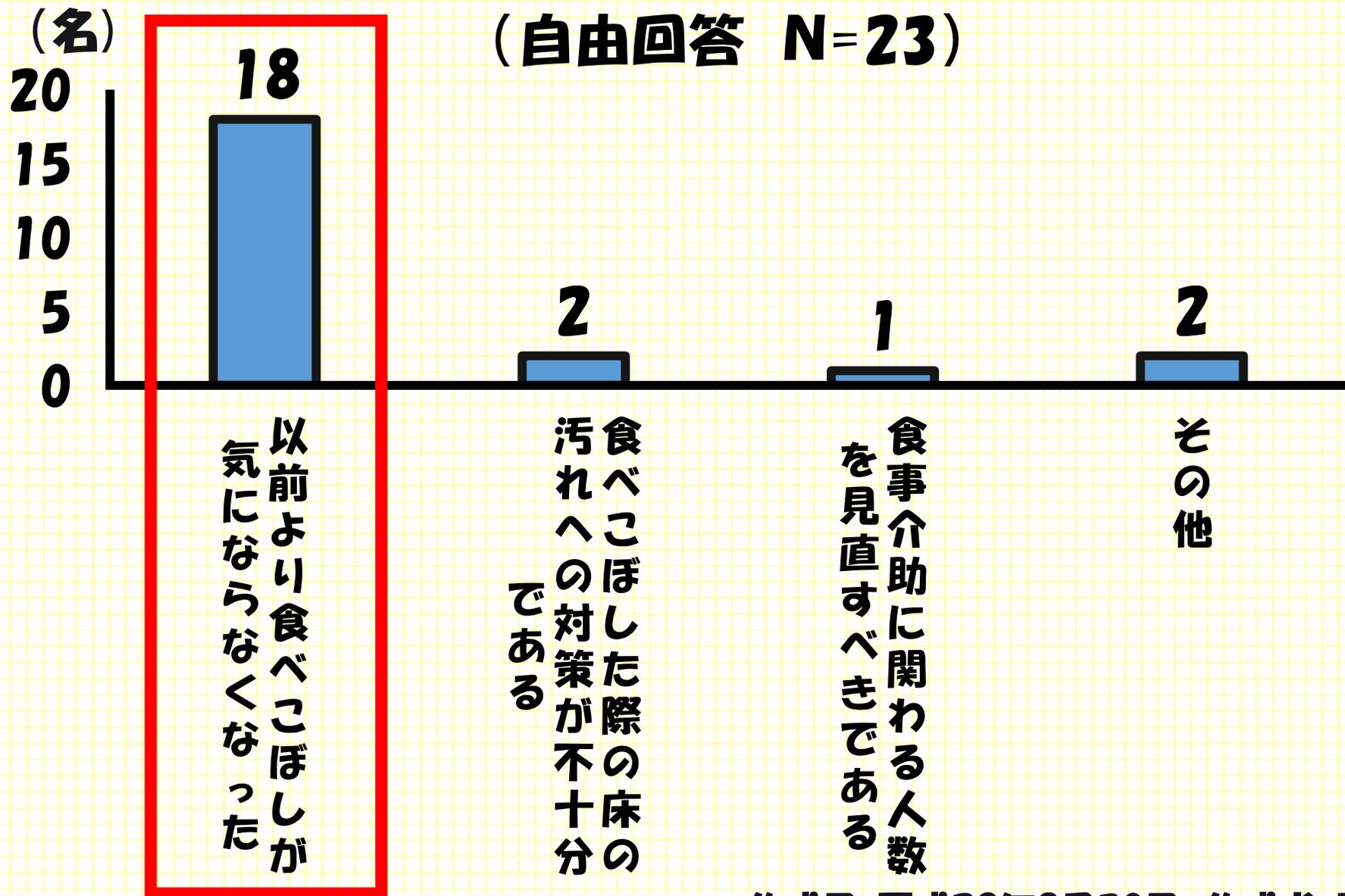
14. まとめ

	良かった点	苦勞した点
テーマ選定	身近なテーマを選定したため 取り組みやすかった。	問題を焦点化することに時間がかかった。
現状把握	他職種と連携し、 利用者の方の身体状況等を見直すことができた。	自発的に口腔体操や集団体操に取り組んでいただけのような働きかけが不十分だった。
要因解析	食事環境を見直すことができた。	自責で要因をつき詰めて行くことが不十分であった。
対策の立案・実施	対策を明確化したことで すぐに実施することができた。	対象の利用者の方を中心に行ったため、他の利用者の方の実施が不十分だった。
効果の確認	道具の見直し等を行なったことで、 エフロンを外して食事をできる方が増えた。	目標にしていた数値を達成することができたが、 まだ不備が見られている。
歯止め	職員に速やかに 周知徹底することができた。	今後も継続していくことができる、 具体的な内容を考えることが難しかった。

【職員アンケート】

現在の食事の環境についてどう思いますか？

(自由回答 N=23)



15、今後の課題

- ・職員が関わる人数、食事介助に関わる人数が適切であったか着目できなかった。
- ・床の汚れに対する対策が不十分であったため、今後床の汚れに対する対策を行なっていく。



「せいちがんぱろーズ」



ご清聴

ありがとうございました！